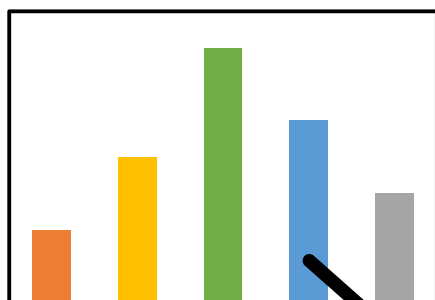


2019グラフで見る

とくしまの農林水産業



徳 島 県

目 次

I	徳島県のすがた	1
II	農 業	4
1	農業の構造	4
(1)	農業経営体	4
(2)	農業従事者数・農業就業人口・基幹的農業従事者数	5
(3)	農業経営体の状況	6
(4)	経営感覚に優れた経営体の育成	7
(5)	耕地	8
(6)	農業経営	9
2	農業生産	10
(1)	生産の概要	10
(2)	米	12
(3)	野菜	14
(4)	果樹	16
(5)	花き	17
(6)	茶	17
(7)	畜産	18
3	農産物仕向先別出荷動向	20
4	青果物販売動向	21
5	大阪中央卸売市場での県産野菜の位置	22
6	主な農林水産物の輸出・輸入動向	23
III	林業	24
1	徳島県の子な林業施設等の設置状況	24
2	林業経営体数及び森林面積	25
3	森林資源	26
4	林業生産	27
IV	水産業	28
1	海面漁業	28
2	海面漁業の生産構造	29
3	内水面漁業の生産量	30
4	全国から見た徳島の漁業	30
V	統計表	31

I 徳島県のすがた

■ 主要指標

県 域：東西約107km、南北79km
県土面積：4,146.75km²（H30.10.1時点）
（出典：国土地理院ウェブサイト）

県総人口：755,733人（平成27年国勢調査）
男：359,790人 女：395,943人

県総世帯数：305,754世帯（平成27年国勢調査）

県内総生産額：3兆837億円（平成27年度）

うち農林水産業：605億円

県民所得(分配)：2兆2,079億円（平成27年度）

1人当たり県民所得：292万1千円（平成27年度）

■ 沿 革

徳島県の前身である阿波国は大化の改新（645年）と呼ばれる政治改革によって成立した。それは、吉野川地域の「粟の国」と県南の「長の国」を合わせて「阿波の国」を置いたと伝えられる。徳島は、古くから淡路（阿波路）を通じ、近畿との交流が頻繁で、平安時代の官道としてもこのルートが使われるなど、近畿の政治文化の影響を強く受けている。

明治維新後、一時期高知県に含まれたこともあったが、明治13年（1880年）にほぼ現在の徳島県が発足した。

徳島県の行政区画は平成31年4月1日現在8市15町1村である。

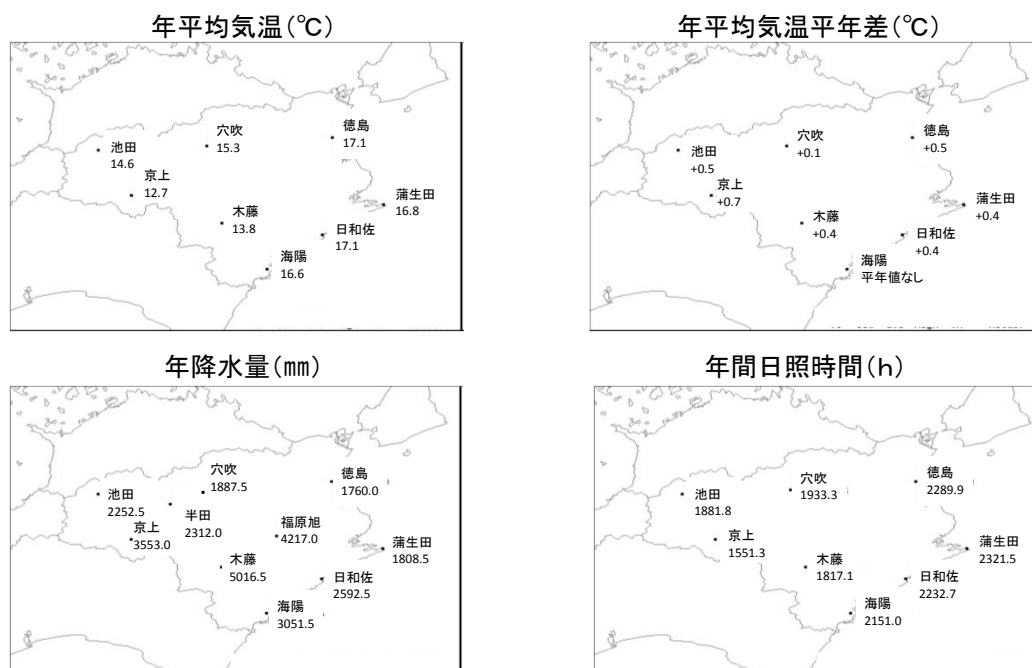
■ 地 勢

本県は、四国の東南部に位置し、山地が多く県土面積のおよそ8割を占めている。

四国第2の高山である剣山（1,955m）を中心とした四国山地が県を南北に分け、県の北辺には讃岐山脈が走り、香川県との境をなしている。この両山地の間を縫って流れる吉野川（四国三郎）は、水源を高知県に発し、三好市池田町から東流するにつれ、広くくさび型となって農業の中心地帯である徳島平野を形成している。

■ 気 象

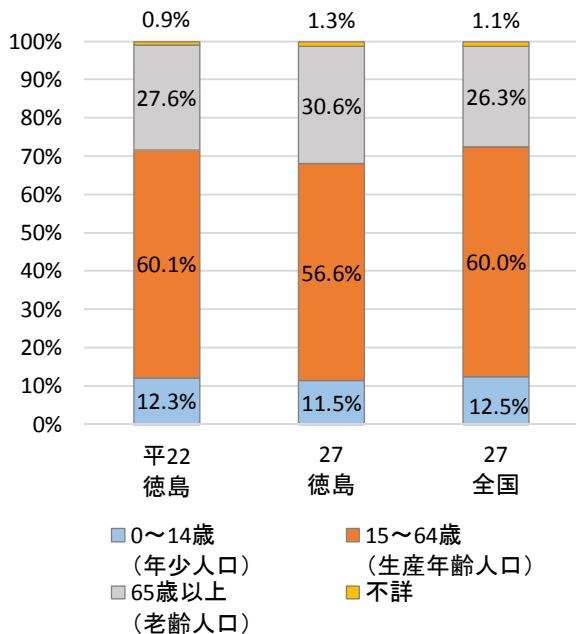
気候は温暖多雨の地域と瀬戸内海気候の一部の地域からなっており、日照時間も多い。



資料：徳島地方気象台「徳島県の年報 2018年」を一部加工

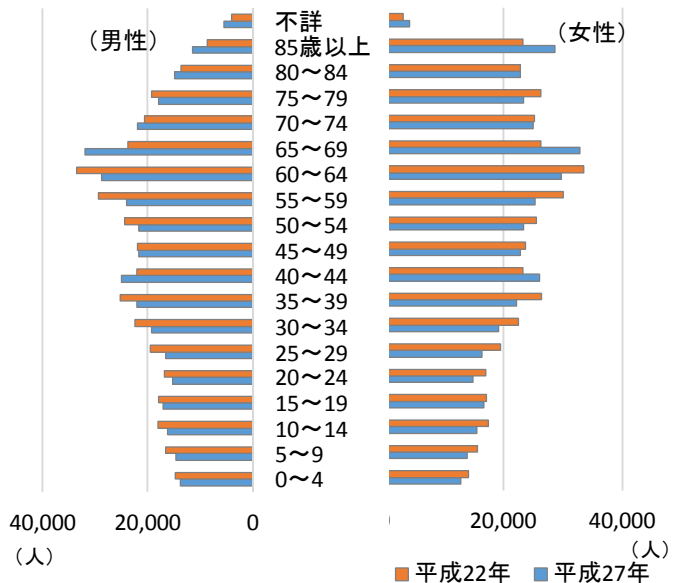
■ 人 口

人口の年齢階層別構成比



資料：総務省統計局「国勢調査」

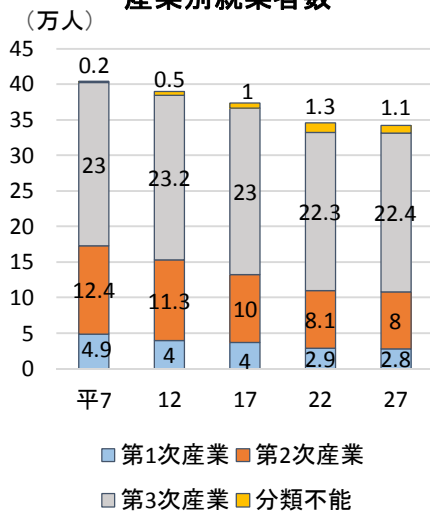
人口の構成



資料：総務省統計局「国勢調査」

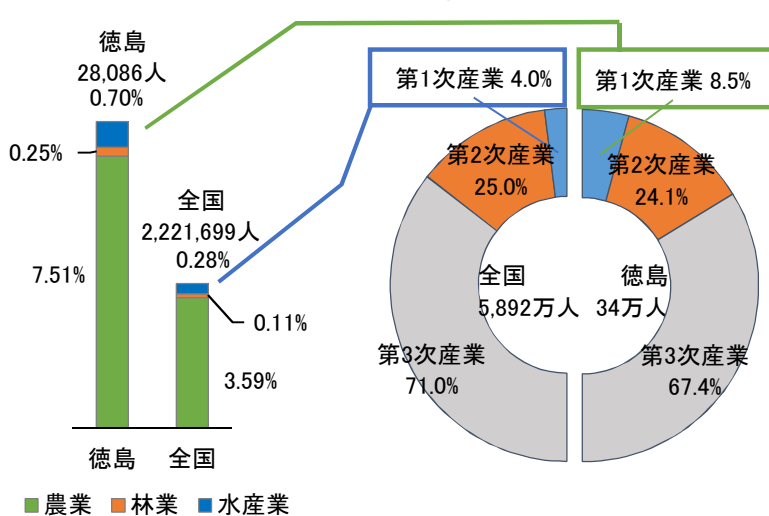
■ 就 業

産業別就業者数



資料：総務省統計局「国勢調査」

就業者の産業別構成比較(平27)



注：割合は、分母から「分類不能の産業」を除いて計算している。

資料：総務省統計局「平成27年国勢調査」

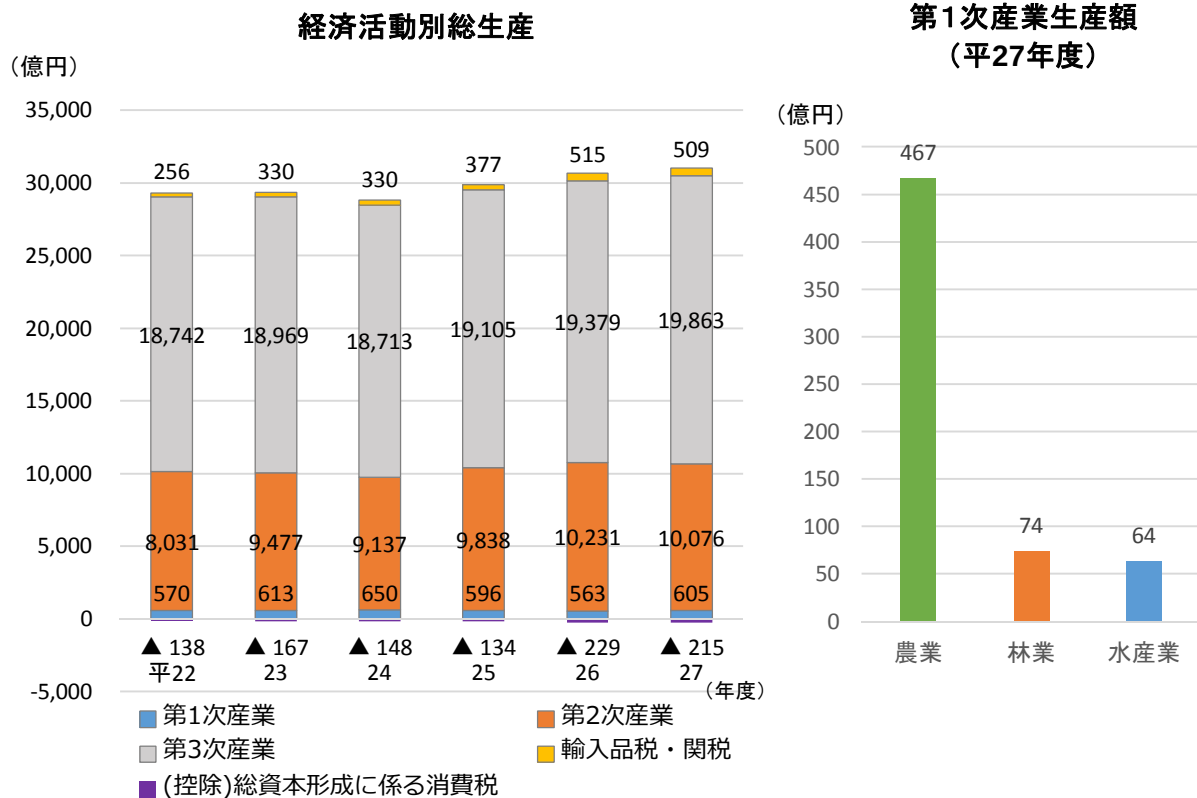
農業就業人口の年齢構成比

平成27年の国勢調査における本県の総人口は75万5,733人で、平成22年に比べ2万9,758人減少した。

年齢階層別の構成比をみると、65歳以上の高齢人口が30.6%を占め、全国平均を4.3ポイント上回っており、5年間で3ポイント上昇した。

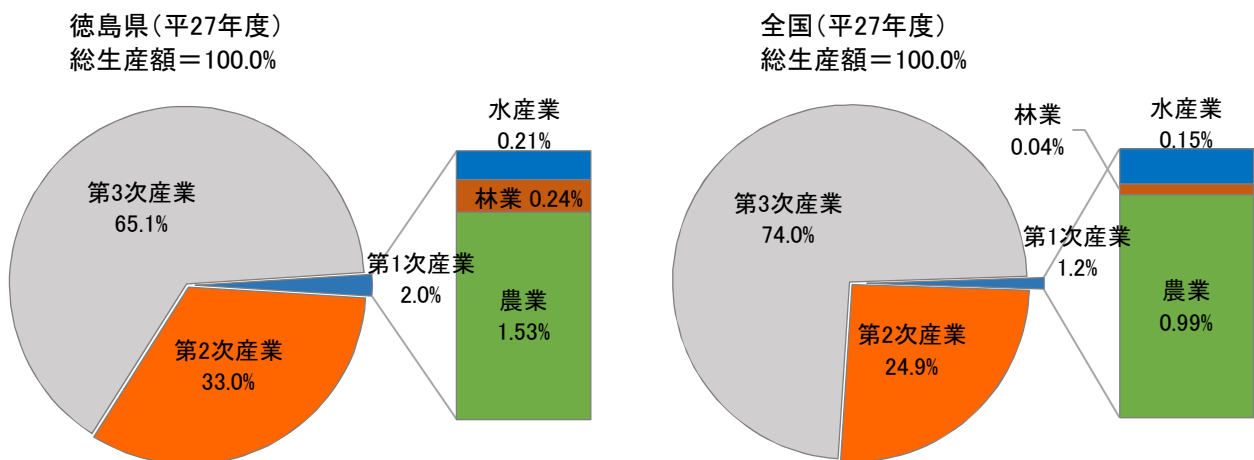
一方、産業別就業者数をみると、第1次産業は2万8,086人で、平成22年に比べ1,291人(4.4%)減少した。

■ 経 済



資料：徳島県「平成27年度徳島県県民経済計算」（体系基準年H23）

経済構造の全国との比較



注：輸入品に課せられる税、消費税、帰属利子等は含まれていない。

資料：内閣府「平成27年度国民経済計算」（体系基準年H23）

徳島県「平成27年度徳島県県民経済計算」（体系基準年H23）

——農林水産業のウエイトが高い徳島——

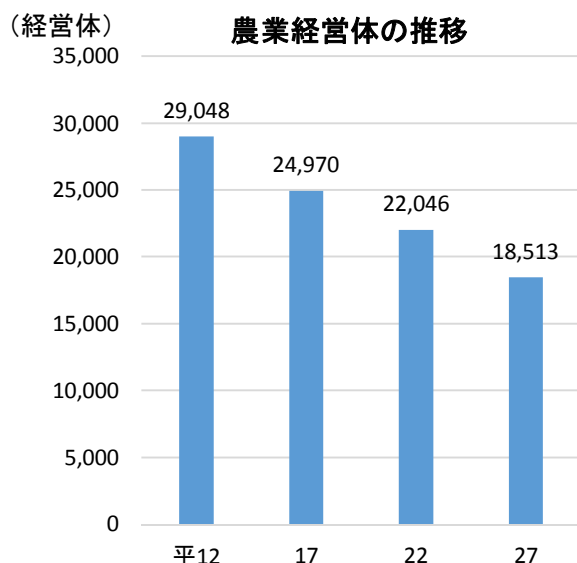
平成27年度の県内総生産は、名目3兆837億円、前年度比1.2%増、実質2兆9,955億円、前年度比0.5%増加した。

第1次産業全体では7.6%増の605億円で、農業が9.1%増の467億円、林業が5.6%増の74億円となったが、水産業は0.7%減の64億円となった。

Ⅱ 農 業

1 農業の構造

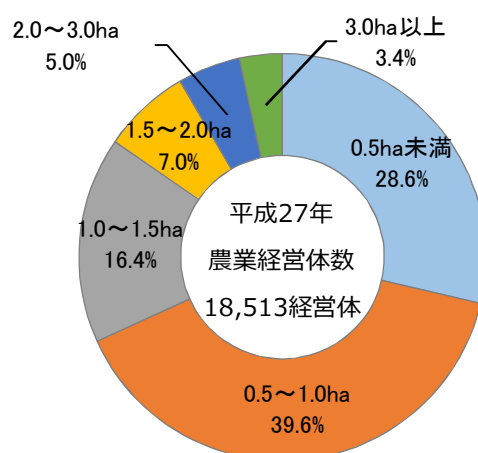
(1) 農業経営体



注：平成12年値は、販売農家、農家以外の農業事業体及び農業サービス事業体の合計値である。

資料：農林水産省「農林業センサス」

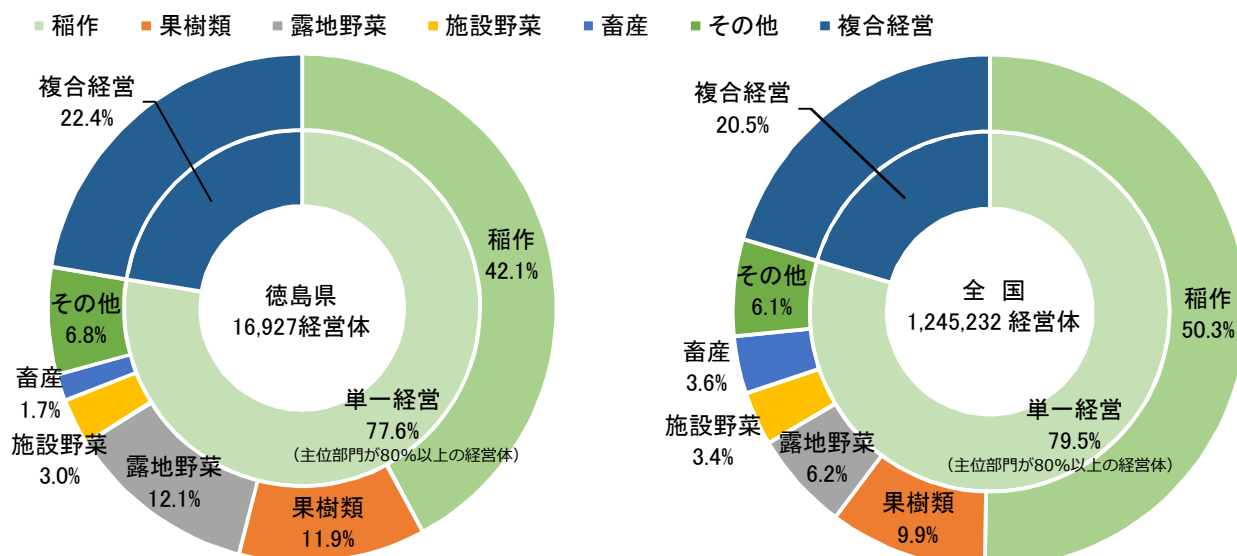
経営耕地面積規模別経営体数割合(平27)



資料：農林水産省「2015年農林業センサス」

農業経営組織別経営体数割合(平27)

—販売のあった経営体—



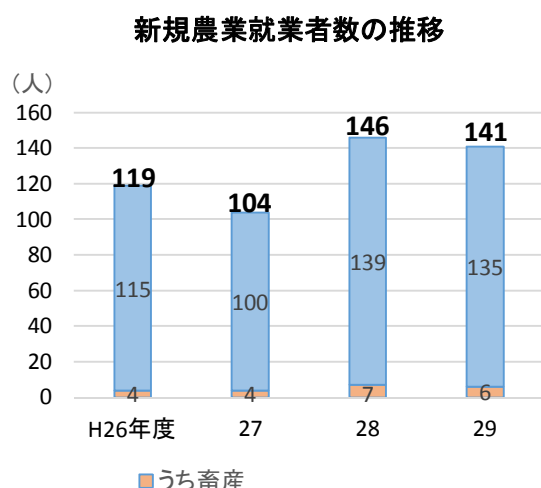
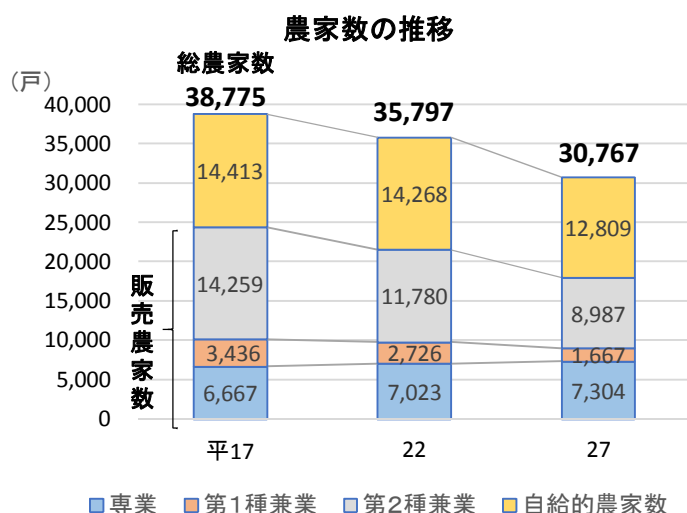
資料：農林水産省「2015年農林業センサス」

———野菜と果樹のウエイトが高い本県の農業———

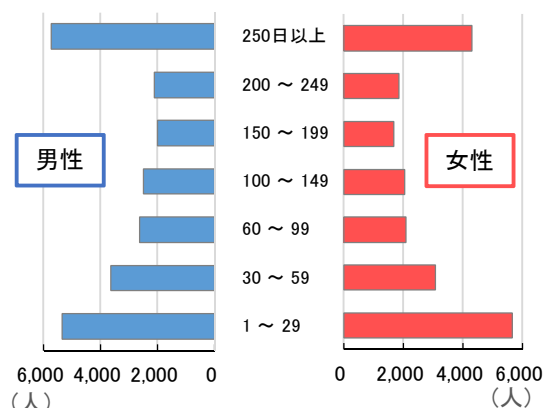
2015年農林業センサスにおける本県の農業経営体数は18,513経営体となっている。

農業経営体の経営形態を農産物の販売状況からみると、本県は全国に比べ野菜と果樹のウエイトが高い特徴が出ている。これを単一経営体の部門別割合でみると、本県は野菜（露地+施設）が15.1%で全国より5.5ポイント高く、果樹も11.9%で全国より2.0ポイント高くなっている。

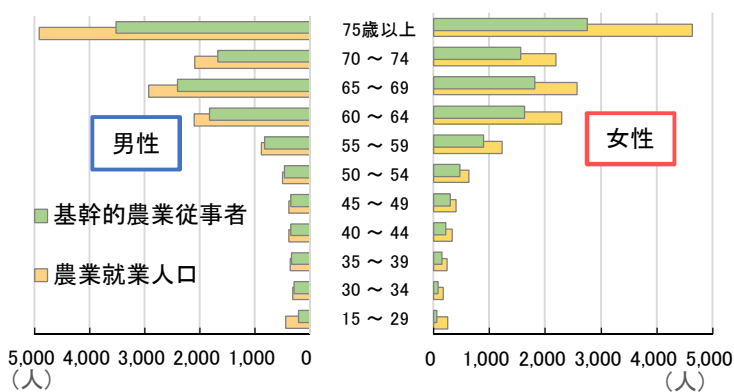
(2) 農家数・新規農業就業者数・農業従事者数・農業就業人口



自営農業従事日数別農業従事者数(平27)



年齢階層別農業就業人口・ 基幹的農業従事者数(販売農家)(平27)



農業就業人口の年齢構成比(平27)

区 分		合 計	15～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上
徳島県	男性	15,285	445	314	357	377	376	496	887	2,103	2,927	2,089	4,914
	女性	14,932	250	170	241	335	403	627	1,224	2,290	2,570	2,194	4,628
	男女計	30,217	695	484	598	712	779	1,123	2,111	4,393	5,497	4,283	9,542
		100.0%	2.3%	1.6%	2.0%	2.4%	2.6%	3.7%	7.0%	14.5%	18.2%	14.2%	31.6%
全 国	男性	1,087,617	41,695	21,289	25,353	27,319	30,011	42,455	64,834	135,377	183,902	161,846	353,536
	女性	1,009,045	22,019	12,757	17,909	23,603	29,396	46,304	80,725	144,941	162,871	158,934	309,586
	男女計	2,096,662	63,714	34,046	43,262	50,922	59,407	88,759	145,559	280,318	346,773	320,780	663,122
		100.0%	3.0%	1.6%	2.1%	2.4%	2.8%	4.2%	6.9%	13.4%	16.5%	15.3%	31.6%

資料：農林水産省「2015年農林業センサス」

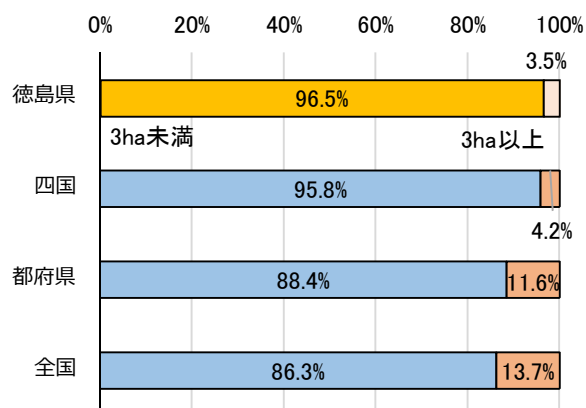
———65歳以上の農業就業人口は全国より0.4ポイント高い———

2015年農林業センサスによると、本県の総農家数は3万767戸であり、そのうち販売農家（経営耕地面積が30アール以上または農産物販売金額が50万円以上の農家）は1万7,958戸であった。

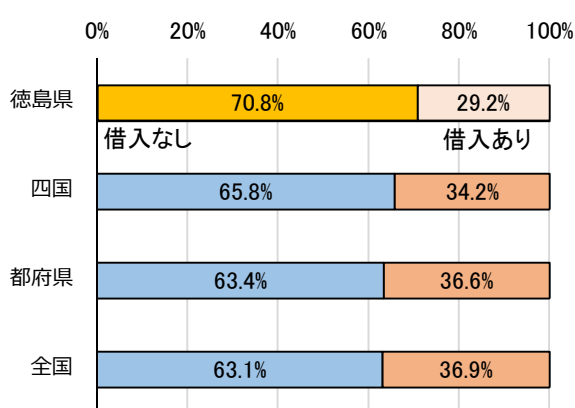
また、本県の農業就業人口（自営農業に主として従事した者）は3万217人であり、そのうち、65歳以上が1万9,322人と全体の63.9%を占めている。男女別でみると女性の割合が49.4%となっている。

(3) 農業経営体の状況（平成27年2月1日現在）

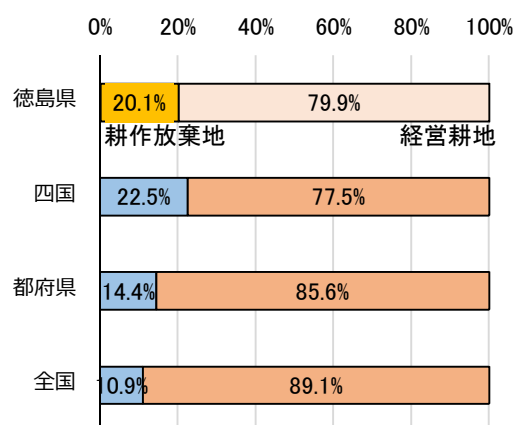
経営耕地面積規模別経営体数の割合



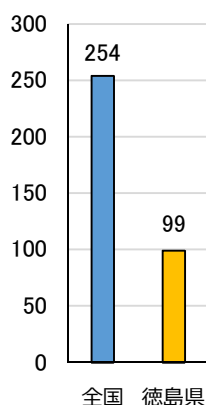
借入耕地のある経営体数の割合



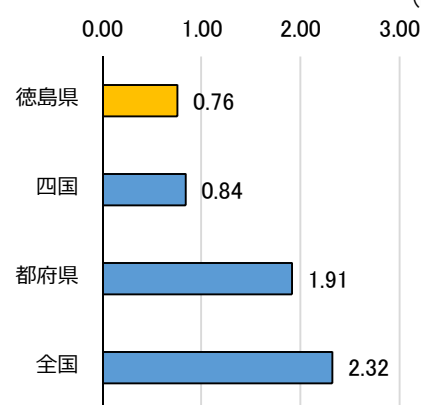
耕作放棄地率



1経営体当たり
経営耕地面積
(平27)



1経営体当たり借入耕地面積 (ha)



経営耕地面積規模別経営体数のまとめ表

区 分		単位	徳島県	四国	都府県	全国
(A)	農業経営体	経営体	18,513	82,156	1,336,552	1,377,266
(B)	家族経営体	"	18,272	80,934	1,306,089	1,344,287
(C)	経営耕地のある経営体	"	18,350	81,452	1,321,557	1,361,177
(D)	経営耕地3ha以上の経営体	"	634	3,406	153,249	186,551
(E)	借入耕地のある経営体	"	5,355	27,848	483,318	502,236
(F)	経営耕地面積（農業経営体）	ha	18,194	85,912	2,400,993	3,451,444
(G)	借入耕地面積（農業経営体）	"	4,044	23,429	925,551	1,164,135
(H)	耕作放棄地面積（総農家+土地持ち非農家）	"	4,577	24,897	404,411	423,064
経営耕地3ha以上の経営体数割合 D/C		%	3.5%	4.2%	11.6%	13.7%
借入耕地のある経営体の割合 E/C		"	29.2%	34.2%	36.6%	36.9%
1経営体当たり経営耕地面積 F/C		ha	0.99	1.05	1.82	2.54
1経営体当たり借入耕地面積 G/E		ha	0.76	0.84	1.91	2.32

注：耕作放棄地面積は総農家及び土地持ち非農家（農家以外で耕地及び耕作放棄地を5a以上所有している世帯）の耕作放棄地を含む。

$$\text{耕作放棄地率 (\%)} = \frac{\text{耕作放棄地面積}}{\text{農業経営体の経営耕地面積} + \text{耕作放棄地面積}} \times 100$$

資料：農林水産省「2015年農林業センサス」

(4) 経営感覚に優れた経営体の育成

ア 認定農業者の数（平成30年3月末現在）

区分	認定農業者	うち法人
徳島県	1,954	183
中国四国	19,361	2,841
全国	240,665	23,648

認定農業者制度とは、「農業経営基盤強化促進法」に基づき適用されるもので、経営改善に意欲ある農業者が農業経営の改善計画を作成し、その計画を市町村の基本構想に照らして認定する制度であり、次のような支援措置が設けられている。

- ・ 農業委員会等による農地利用集積の支援
- ・ 税制上の特例
- ・ 制度資金の融資配慮
- ・ 農業者年金の保険料の助成
- ・ 経営相談、研修等の実施等

資料：認定農業の認定状況（農林水産省経営局調べ）

イ 農業経営体の法人化状況（平成27年2月1日現在）

区分	農事組合法人	株式会社 (特例有限会社を含む)	合名・合資会社	合同会社	各種団体	その他法人	合計
徳島県	44	188	2	5	42	9	290
中国四国	1,062	1,703	13	43	525	135	3,481
全国	6,199	16,094	150	329	3,438	891	27,101

資料：農林水産省「2015年農林業センサス」

ウ 農業生産関連事業を行っている経営体数（平成27年2月1日現在）

区分	農産物の加工	消費者に直接販売	貸農園・体験農園等	観光農園	農家民宿	農家レストラン	海外への輸出	その他	農業生産関連事業を行っている実経営体数
徳島県	242	2,606	25	33	18	12	4	24	2,744
中国四国	2,979	38,107	275	563	139	155	50	209	39,550
全国	25,068	236,655	3,723	6,597	1,750	1,304	576	1,836	251,073

注：事業種別は重複するため合計と実経営体数は一致しない。

資料：農林水産省「2015年農林業センサス」

——多様な担い手づくりの推進——

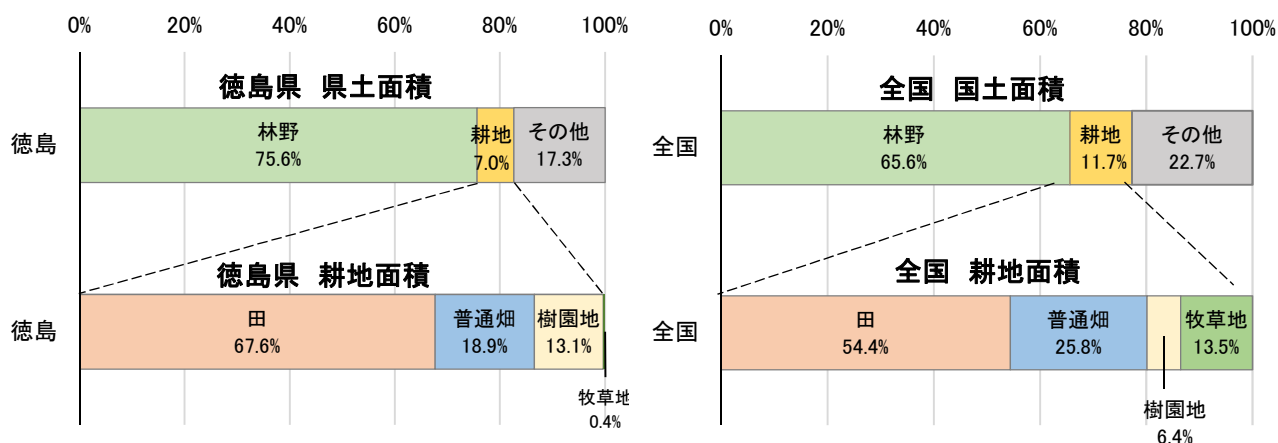
認定農業者や農業法人などの経営感覚に優れた意欲ある担い手や集落営農組織を育成するため、経営情報の提供、技術・経営指導、融資等の支援を行っている。また、農村地域を支える女性やこれからの本県農業の担い手としての活躍が期待されている青年農業者や新規就農者の育成など、農業農村の多様な担い手の育成を推進している。

平成30年3月末現在の認定農業者数は1,954経営体であり、平成25年3月末からの5年間で237経営体減少した。

認定農業者のうち法人は183法人で、平成25年3月末からの5年間で37法人増加した。

(5) 耕地

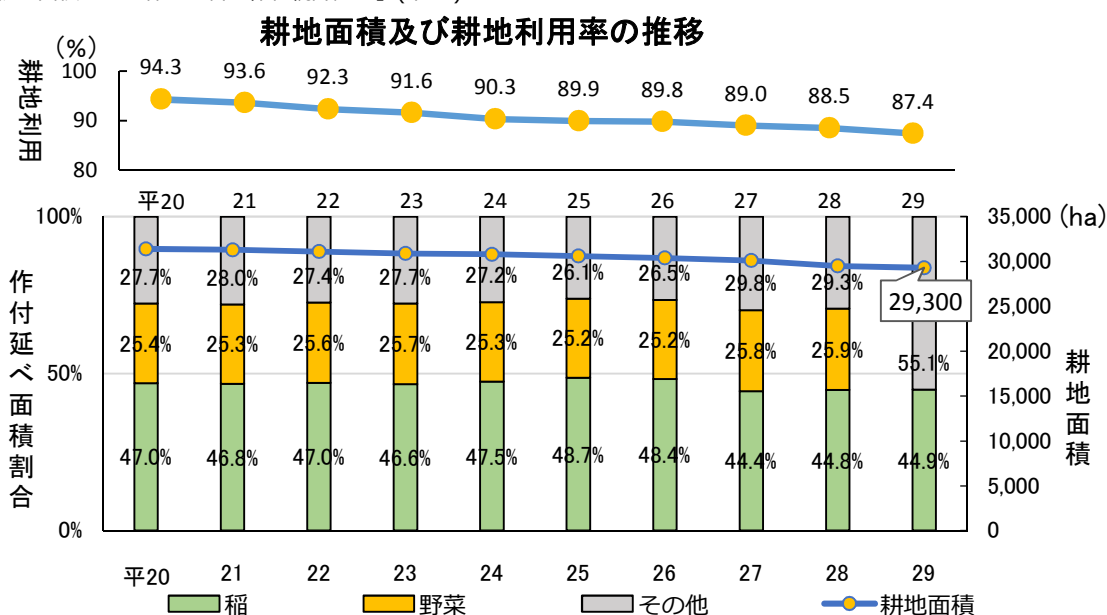
土地利用の割合(平30)



資料：面積は、国土地理院「平成30年全国都道府県市区町村別面積調」

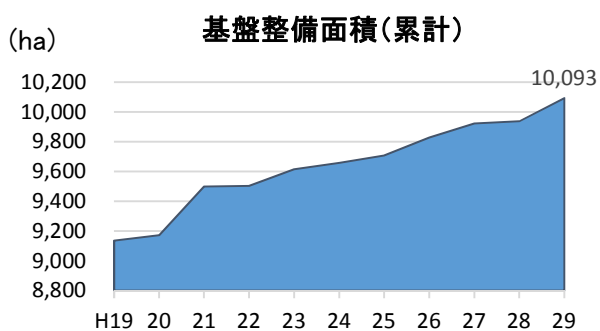
林野面積は、農林水産省「2015年農林業センサス」

耕地面積は、農林水産省「作物統計調査」(平30)

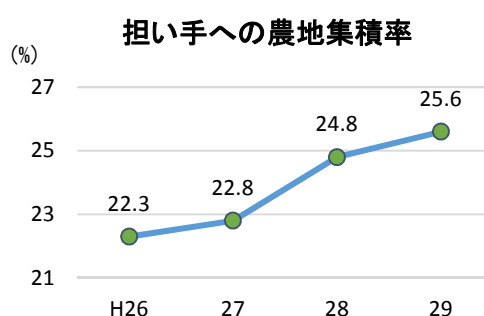


資料：農林水産省「作物統計調査」

※平成29年より「野菜」の「作付け延べ面積」が非公表となり、「その他」に含まれる。



資料：徳島県調べ



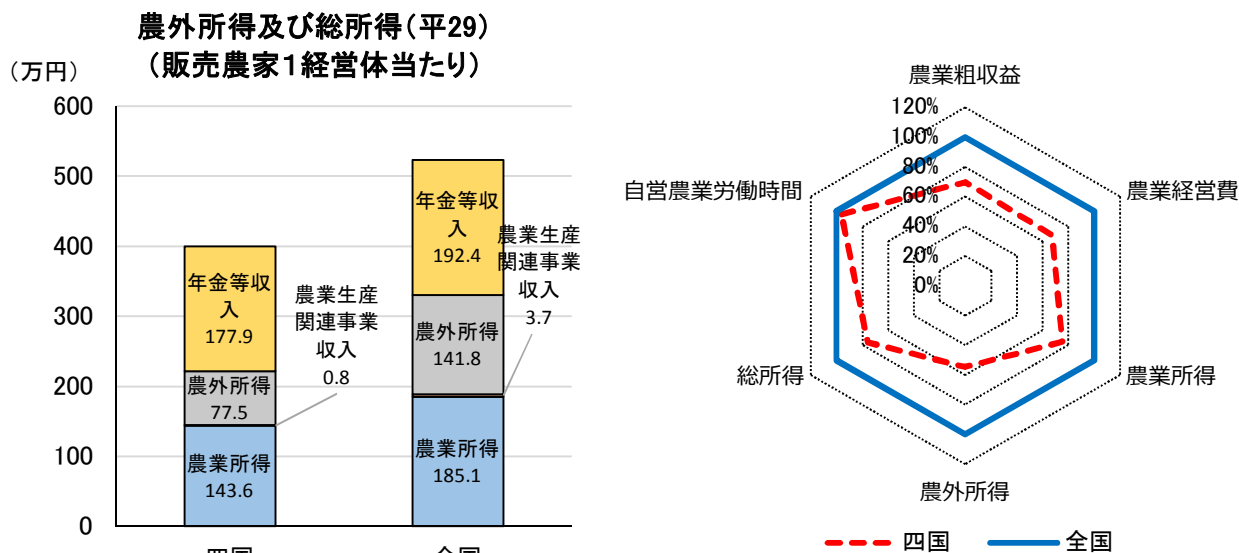
資料：農林水産省「農地中間管理機構による農地集積の状況」(平成29年度)

環境に調和した農業生産基盤の整備

農業の生産性向上や野菜、麦、大豆など多様な作物の栽培が可能となるよう、良好な営農条件を備えた農地、農業用水を確保するため、環境に調和した、ほ場整備、用排水路、農道等の生産基盤を整備するほか、自然災害対策として、農地や農業施設の保全や機能回復等についても対策を図っている。

平成29年「作物統計調査」における耕地面積は2万9,300haで、前年に比べ200ha減少した。また、耕地利用率は87.4%であり、温暖な気候と恵まれた土地条件等を活かして、冬野菜を中心とする園芸産地が形成されるなど、土地が有効活用されている。

(6) 農業経営



農業経営の指標(平29)(個別経営・販売農家1経営体当たり)

項 目		単位	四国	全国	全国比(%)
農 業	粗 収 益	千円	4,346	6,234	69.7%
農 業	経 営 費	千円	2,910	4,327	67.3%
農 業	所 得	千円	1,436	1,907	75.3%
農 業 生 産 関 連 事 業 及 び 農 外 所 得		千円	781	1,429	54.7%
年 金 等 の 収 入		千円	1,779	1,924	92.5%
総 所 得		千円	3,996	5,260	76.0%
租 税 公 課 諸 負 担		千円	612	765	80.0%
可 処 分 所 得		千円	3,384	4,495	75.3%
農 業 依 存 度		%	64.8	57.2	*7.6%
農 業 所 得 率		%	33.0	30.6	*2.4%
付 加 価 値 額		千円	1,673	2,248	74.4%
農 業 固 定 資 産 額 (土 地 を 除 く)		千円	3,506	3,917	89.5%
自 営 農 業 労 働 時 間		時間	1,892	1,967	96.2%
経 営 耕 地 面 積		a	139.7	279.5	50.0%
集 約 度	10 a 当 たり 自 営 農 業 労 働 時 間	時間	135	70	192.9%
	10 a 当 たり 農 業 固 定 資 産 額	千円	251	140	179.3%
収 益 性 (所 得)	家 族 農 業 労 働 1 時 間 当 たり	円	866	1,105	78.4%
	農 業 固 定 資 産 千 円 当 たり	円	410	487	84.2%
生 産 性 (付 加 価 値 額)	経 営 耕 地 面 積 10 a 当 たり	千円	120	80	150.0%
	自 営 農 業 労 働 1 時 間 当 たり	円	884	1,143	77.3%
	農 業 固 定 資 産 千 円 当 たり	円	477	574	83.1%

資料：農林水産省「農業経営統計調査」(平29)

*はポイント差

平成29年の四国における販売農家1経営体当たりの農業所得は143万6,000円となった。

また、農業所得以外（農業生産関連事業及び農外所得、年金等の収入）の所得を含めた総所得は399万6,000円となった。

農業純生産（農業生産によって新たに生み出された付加価値額）を経営耕地面積10a当たりで見ると、約12万円で全国平均の約1.5倍となっている。

(1) 生産の概要

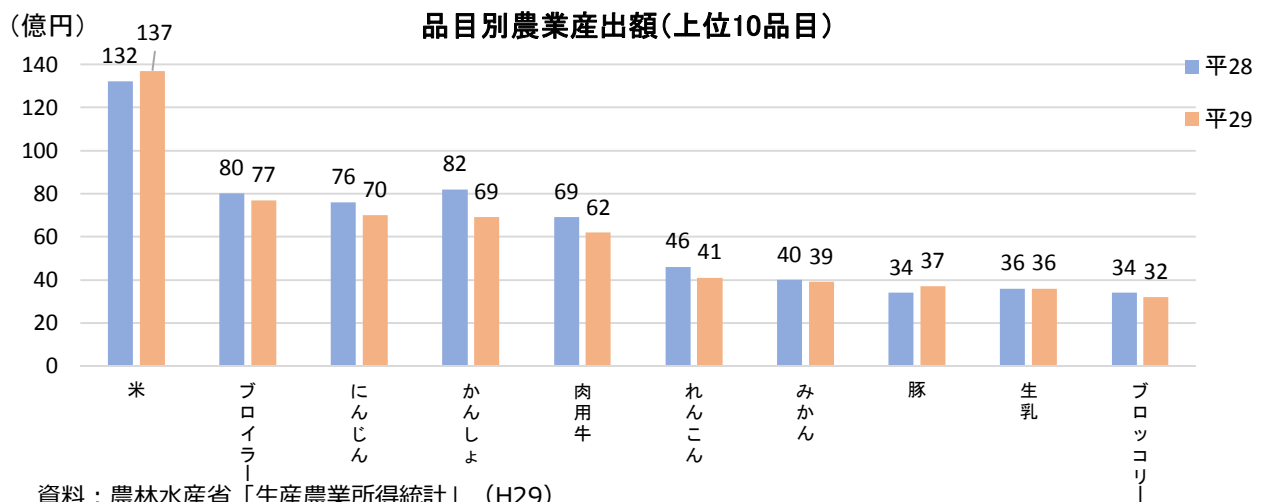
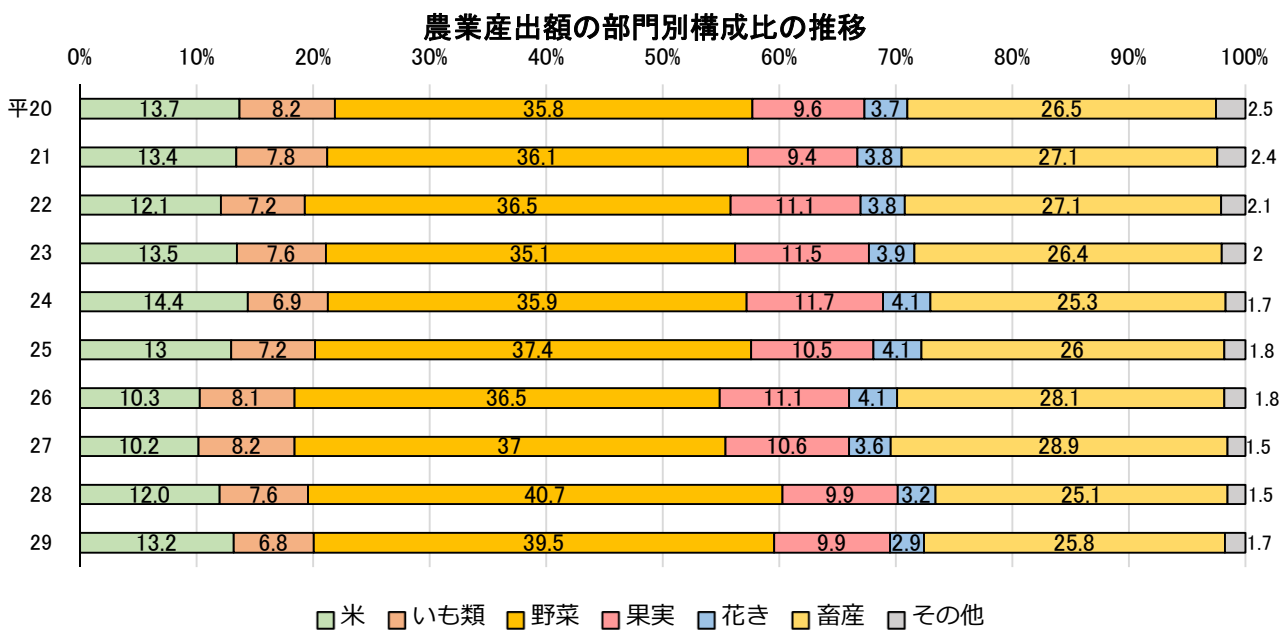
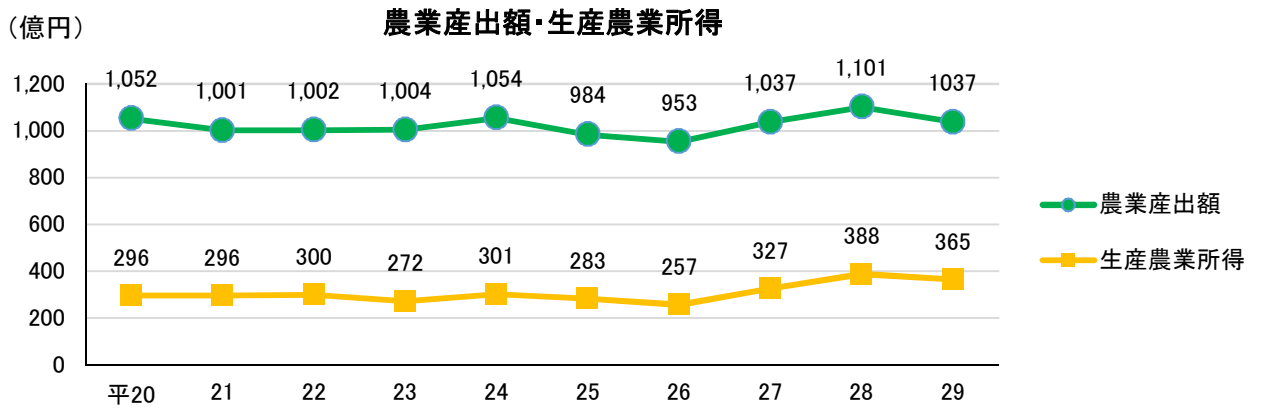
項目			年次	作付(栽培) 面積 (ha)	収穫量 (t)	全国比較			
						作付(栽培)面積		収穫量	
						シェア	順位	シェア	順位
耕	水 稲	H30	11,400	53,600	0.78%	40	0.69%	39	
	小 麦	〃	56	129	0.03%	39	0.02%	39	
	二 条 大 麦	〃	22	49	0.06%	19	0.04%	19	
	は だ か 麦	〃	60	82	1.1%	13	0.7%	16	
	か ん し ょ	H29	1,100	30,300	3.09%	5	3.75%	5	
	ば れ い し ょ	H28	107	1,590	0.14%	43	0.10%	42	
	き ゅ う り	H29	69	7,770	0.64%	40	1.61%	23	
	ト マ ト	〃	85	4,800	0.71%	38	0.65%	33	
	うちミニトマト	〃	27	1,290	1.09%	25	0.90%	21	
	な す	〃	96	7,370	1.05%	33	2.39%	11	
種	し し と う	〃	13	266	3.76%	6	3.40%	4	
	は く さ い	〃	92	3,960	0.53%	33	0.45%	30	
	キ ャ ベ ツ	〃	161	6,950	0.46%	38	0.49%	30	
	ほうれんそう	〃	538	3,500	2.62%	12	1.53%	19	
	ブロッコリー	〃	768	8,830	5.15%	7	6.11%	6	
	カリフラワー	〃	89	2,010	7.24%	4	10.00%	3	
	レ タ ス	〃	307	5,350	1.41%	14	0.92%	16	
	ね ぎ	〃	225	3,330	1.00%	31	0.73%	30	
	た ま ね ぎ	〃	99	3,140	0.38%	34	0.25%	28	
	だ い こ ん	〃	357	18,400	1.12%	27	1.39%	20	
	に ん じ ん	〃	978	53,100	5.46%	4	8.90%	3	
	れ ん こ ん	〃	527	7,060	13.27%	2	11.48%	2	
	す だ ち	H28	397	4,628	98.37%	1	98.50%	1	
	み か ん	H29	808	12,000	1.99%	14	1.62%	14	
	日 本 な し	〃	218	4,930	1.86%	15	2.01%	13	
	う め	〃	135	440	0.89%	22	0.51%	22	
く り	H26	128	84	0.62%	36	0.40%	35		

資料：農林水産省「作物統計調査」「野菜生産出荷統計」「果樹生産出荷統計」

項目		単位	調査期日	飼養頭羽数	全国比較	
					シェア	順位
畜産	肉用牛	頭	H30.2.1	22,500	0.9%	25
	乳用牛	〃	〃	4,520	0.3%	32
	豚	〃	〃	39,600	0.4%	32
	採卵鶏	千羽	〃	931	0.5%	34
	ブロイラー	〃	〃	4,310	3.1%	6

-10-

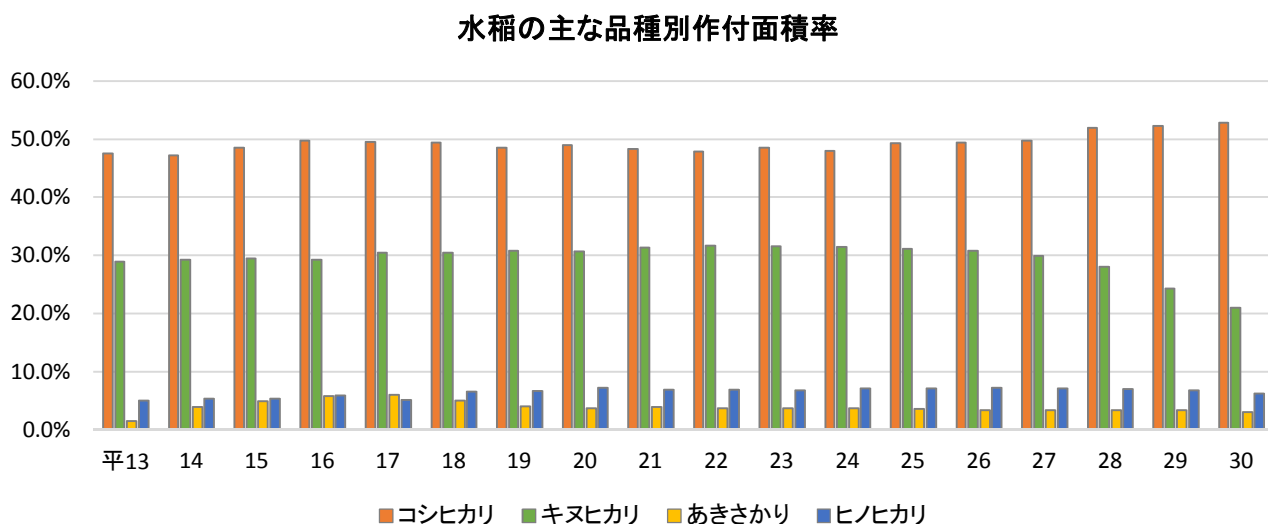
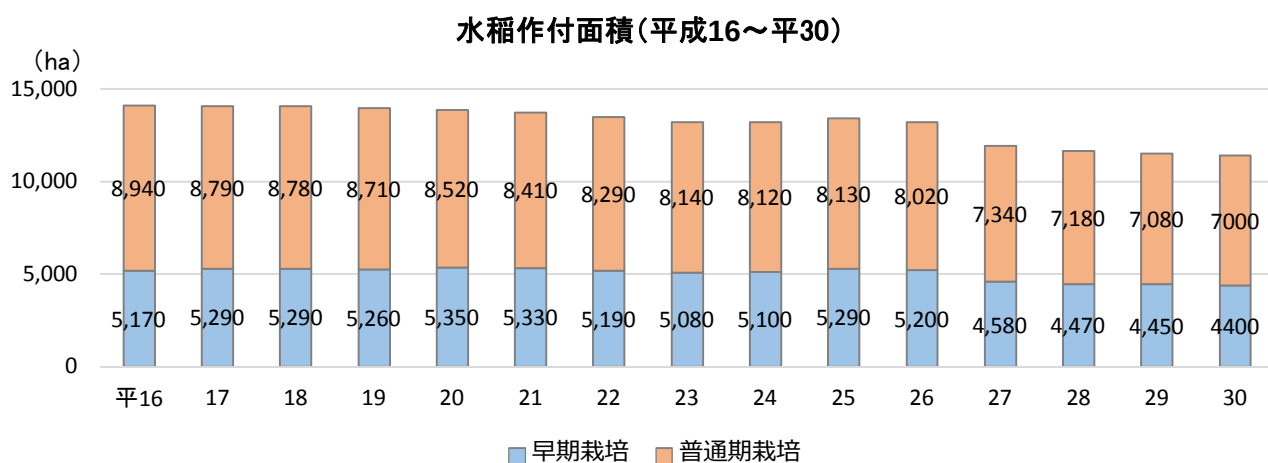
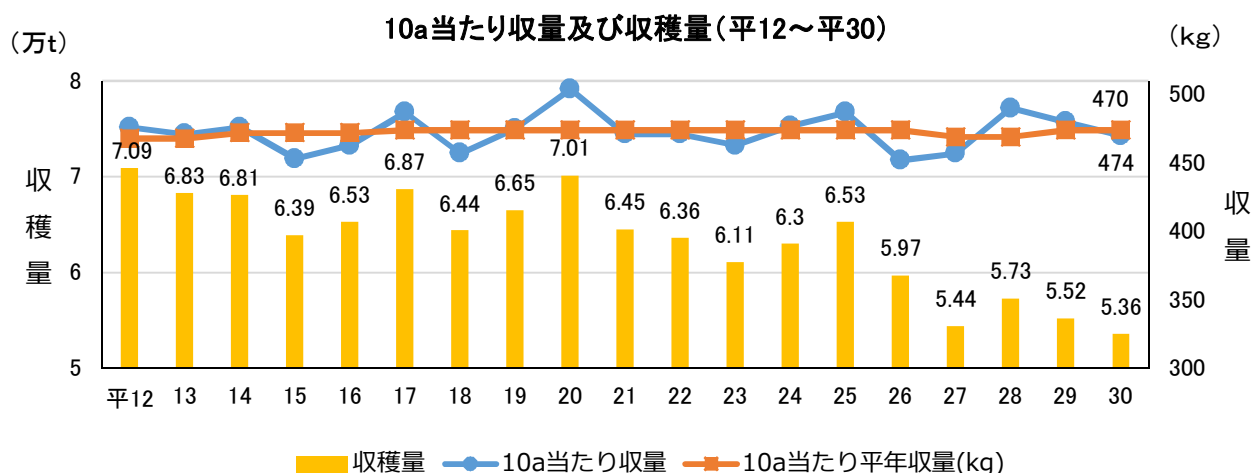
イ 農業産出額・生産農業所得



徳島県における平成29年の農業産出額は、3年連続で1,000億円を上回る1,037億円となった。部門別では、野菜が39.5%を占め最も高く、次いで畜産25.8%、米13.2%、果実9.9%の順となっている。

品目別では、米、ブロイラー、にんじん、かんしょ、肉用牛、の順となっており、上位5品目で全体の約4割を占めている。

(2) 米



——10 a 当たり収量は、470 k g——

平成30年産水稻の作付面積は1万1,400haで、前年に比べ100ha減少した。
 10a当たり収量は470kgで、作況指数は99となり、収穫量は5万3,600tとなった。
 品種別の作付状況は、消費者の良食味米指向などから全体の5割がコシヒカリとなっている。

平成30年度経営所得安定対策の取組状況

項 目	実 績
経営所得安定対策交付件数	4,518件
経営所得安定対策交付額	11.5億円
①水田活用の直接支払交付件数	4,513件
水田活用の直接支払交付額	11.2億円
水田活用の直接支払交付面積	3,018ha
②畑作物の直接支払交付件数	53件
畑作物の直接支払交付額	0.2億円

平成30年度経営所得安定対策における助成実績の内訳

作 物 名	助成対象面積 (ha)
麦	43
大豆	11
そば	3
飼料作物	104
加工用米	25
WC S用稲	214
米粉用米	14
飼料用米	529
輸出用米	20
その他(野菜・果樹・地力増進作物等)	2,055
合 計	3,018

——— 需要に応じた米づくりの推進 ———

徳島県における平成30年度の経営所得安定対策の交付額は約11.5億円となった。

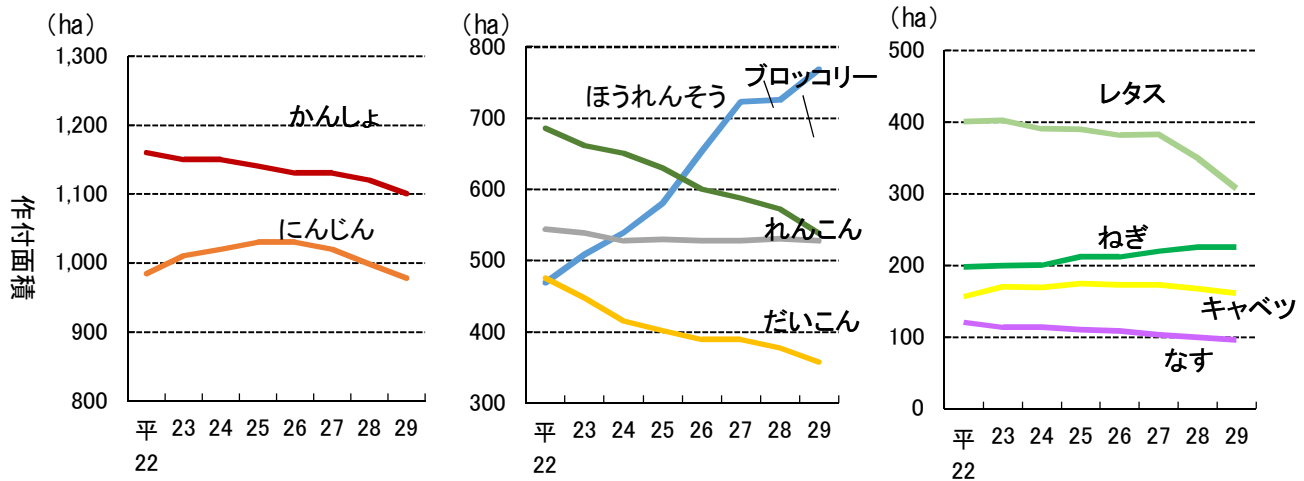
水田農業の振興方針をとりまとめた「徳島県水田フル活用ビジョン」に基づき、需要に応じた米の生産を推進し、飼料用米、米粉用米、WCS用稲等の「新規需要米」の作付け面積は約795haとなった。

また、各県で助成内容が設定できる「産地交付金」を活用し、地域が産地化を進める野菜等の作付拡大に対する助成を行い、本県園芸品目の産地づくりが継続されるよう措置を行った。

あ一方、県産酒米100%を利用した、地酒ブランド「阿波十割」の需要促進と併せて、原料となる酒米の産地化にも取り組んでいる。

(3) 野菜

主要野菜の作付面積(ha)



資料：農林水産省「作物統計調査」

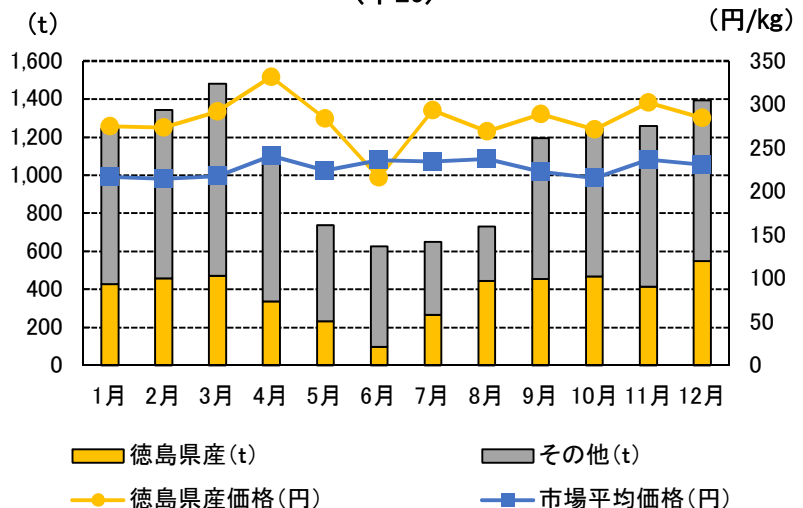
かんしょ(さつまいも)の作付面積及び収穫量

収穫量の全国上位都道府県(平29)

順位	都道府県	作付面積 (ha)	収穫量 (t)
一	全国	35,600	807,100
1	鹿児島	11,900	282,000
2	茨城	6,700	174,900
3	千葉	4,130	101,200
4	宮崎	3,690	90,000
5	徳島	1,100	30,300
6	熊本	1,000	22,300
7	静岡	582	10,500

資料：農林水産省「作物統計調査」

大阪中央卸売市場における月別取扱量及び価格
(平29)



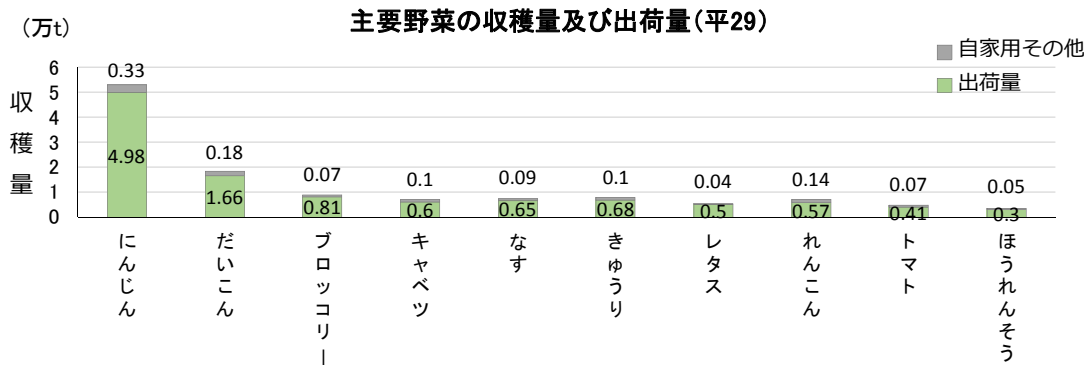
かんしょの収穫量は3万300 t で、全国第5位である。

かんしょの5割以上はでん粉や焼酎等に向けられるが、徳島県産は「なると金時」として市場に出荷され京阪神市場で高いシェアがある。大阪中央卸売市場では、食味の良さが評価され市場平均価格に比べ本県産の価格は約3割高となっており、取扱量も全体の約1/3を占め、第1位となっている。

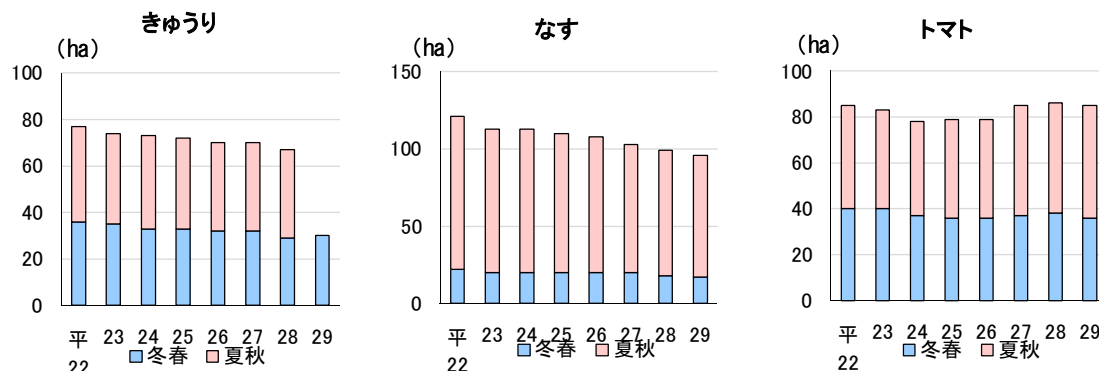
情報の受発信機能の強化を目指す

マーケットイン型の産地づくりをめざして、平成28年に「地域商社 阿波ふうど」を設立するとともに、首都圏での情報発信を推進するため、平成29年度には東京（渋谷）に「TurnTable」を開設した。

さらには、「新鮮なっ！とくしま号」につづく2台目のPR車両として、調理機能や機動力を備えた「でり・ばりキッチン阿波ふうど号」の導入や、消費者ニーズの把握を行い、徳島県の農林水産物の認知度向上に向けた、体制の整備とツールの充実に努めた。



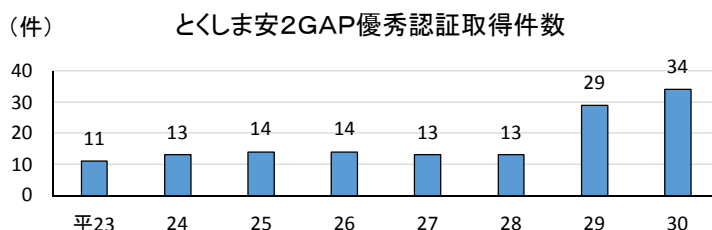
主要野菜作付面積と季節区分割合



区 分	きゅうり			なす			トマト		
	作付面積	季節区分		作付面積	季節区分		作付面積	季節区分	
		冬春	夏秋		冬春	夏秋		冬春	夏秋
平22	77	36	41	121	22	99	86	40	45
23	74	35	39	113	20	93	83	40	43
24	73	33	40	113	20	93	78	37	41
25	72	33	39	110	20	90	79	36	43
26	70	32	38	108	20	88	79	36	43
27	70	32	38	103	20	83	85	37	48
28	67	29	38	99	18	81	86	38	48
29	69	30	-	96	17	79	85	36	49

資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」

とくしま安2GAP取得状況



※とくしま安2GAP優秀認証は農林水産省GAPガイドラインに準拠しています。

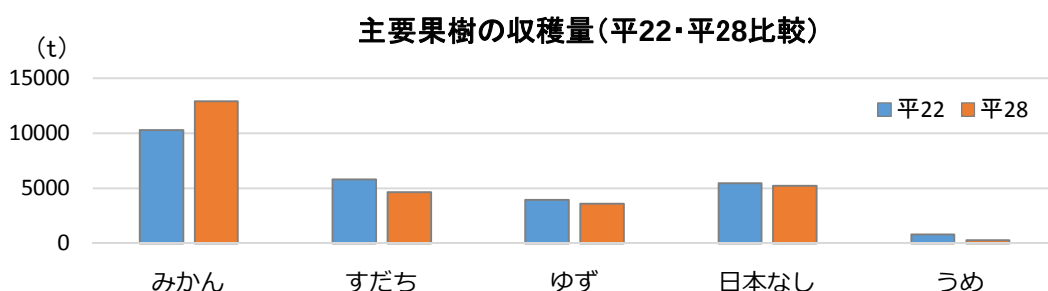
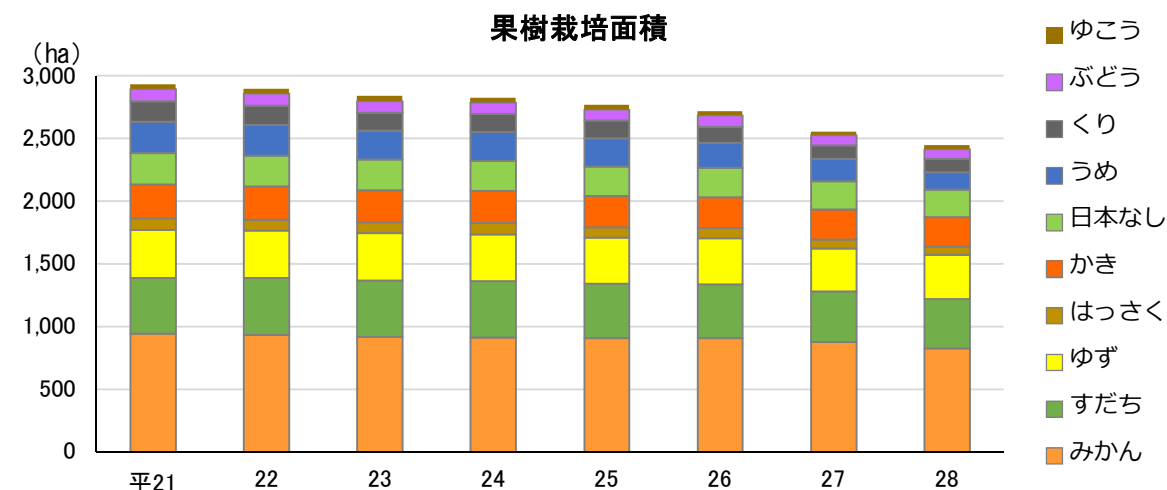
「進化するとくしまブランド戦略」の推進

「東京オリンピック・パラリンピック」を、県産品のブランド化と販売拡大の絶好の機会と捉え、その経済効果を徳島県に確実に波及させるため、産地の抱える課題の解決に取り組むとともに、4つのターゲット市場（関西、首都圏、県内、海外）ごとに、市場ニーズに合った効果的な施策を展開する。

本県ならではの「強みと機能」をフルに活用し、生産から流通、販売に至るまで、総合的なサポートを行うことで、県産品のブランド化による、「もうかる農林水産業」の実現を図る。

本県では農業生産において、適正な工程管理を実施する取組を知事が「とくしま安2GAP農産物」として認証している。平成30年には94件（764経営体）が認証を取得しており、このうち農林水産省GAPガイドラインに準拠する「優秀認定」は34件（61経営体）である。

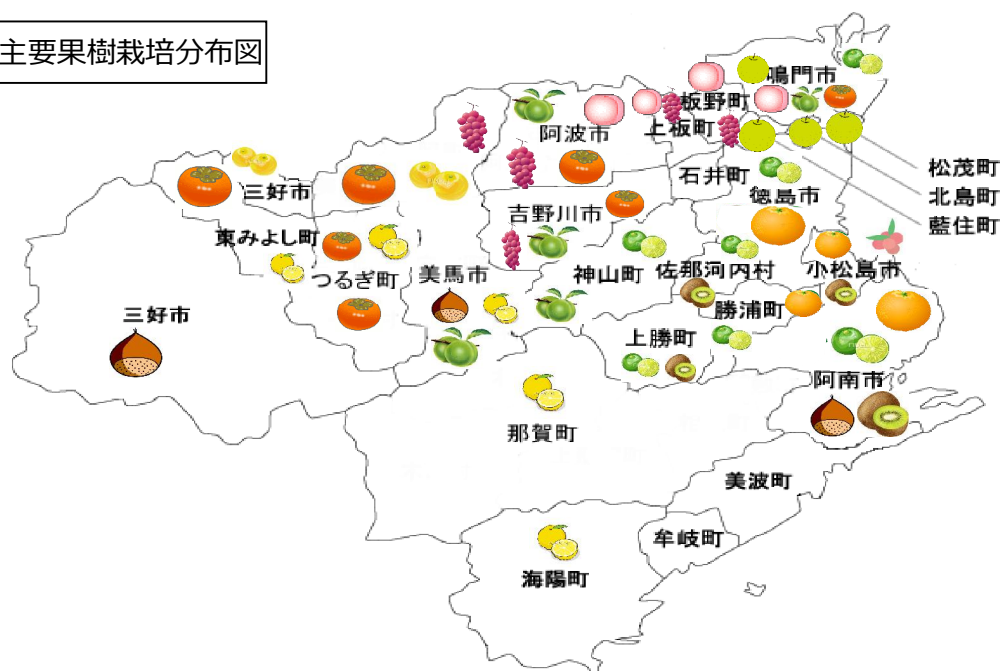
(4) 果樹



資料：農林水産省「果樹生産出荷統計」

すだち・ゆず・かきは「特産果樹生産動態等調査」(もうかるブランド推進課調べ)

徳島県の主要果樹栽培分布図

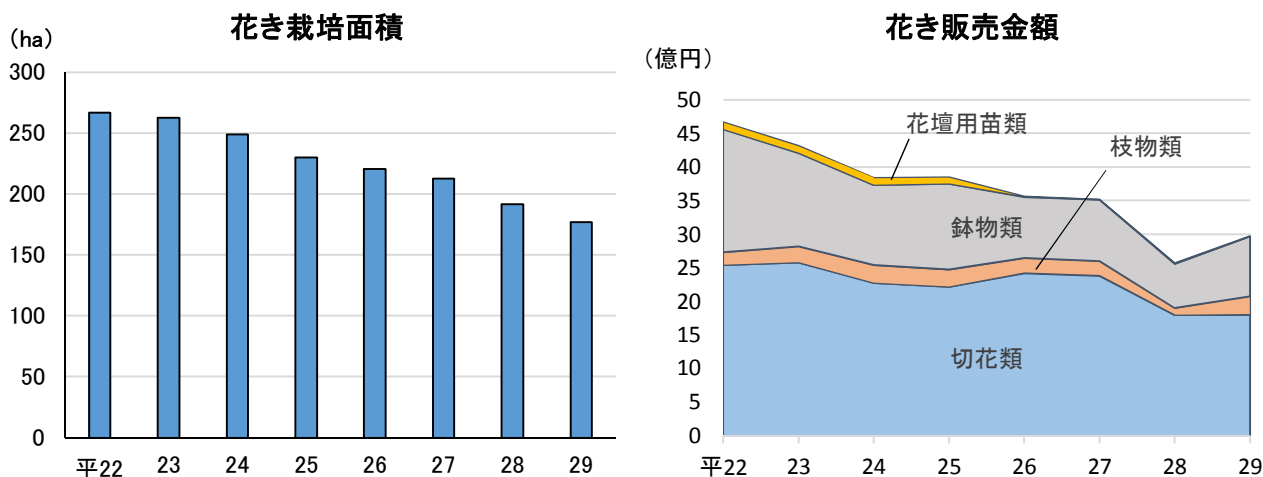


——ブランド果実の生産拡大を推進——

本県は、平成23年に策定した「徳島県果樹農業振興計画書」に基づいて、恵まれた自然環境のもと、すだちに代表されるブランド品目等の高品質な果実の生産振興を図っているが、近年は高齢化等により生産量が減少傾向にある。

平成28年産の果樹の栽培面積は2,708haで、種類別面積割合は、みかん30.5%、その他かんきつが32.5%で約6割を占め、主要果樹のかき8.6%、日本なし8.0%、うめ5.2%を加えると全果樹の8割以上となっている。また、本県オリジナルのゆこうは上勝町を中心に30ha弱が栽培されている。

(5) 花き

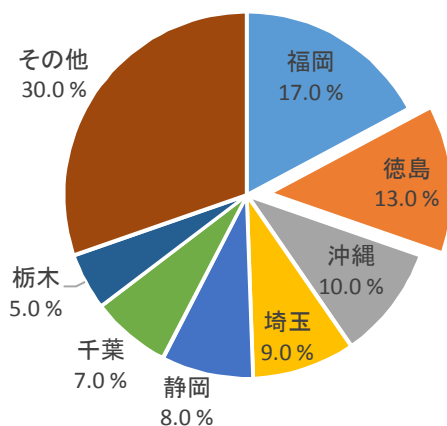


資料：徳島県「徳島の花」「徳島の園芸」

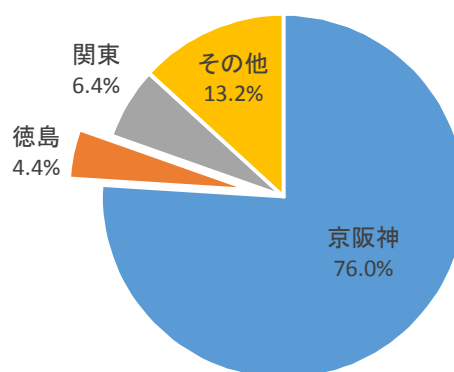
平成29年花き栽培面積は177haで、前年に比べ15ha減少した。類別にみると、切花類は7ha、枝物類は6ha、鉢物類は1ha、花壇用苗物類は1haで、減少傾向であった。

——洋ラン類の切花は全国で第2位の出荷量——

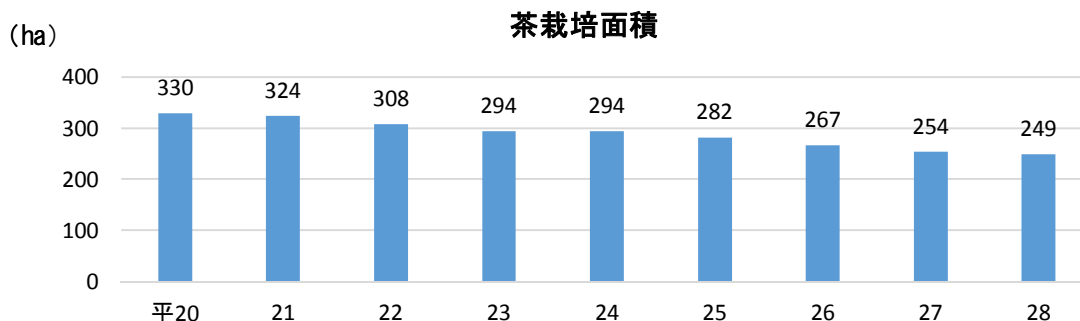
県産洋ラン(切り花)都道府県別出荷量割合(平成29)



県産洋ラン(切り花)出荷先の地域別割合(平成29)



(6) 茶



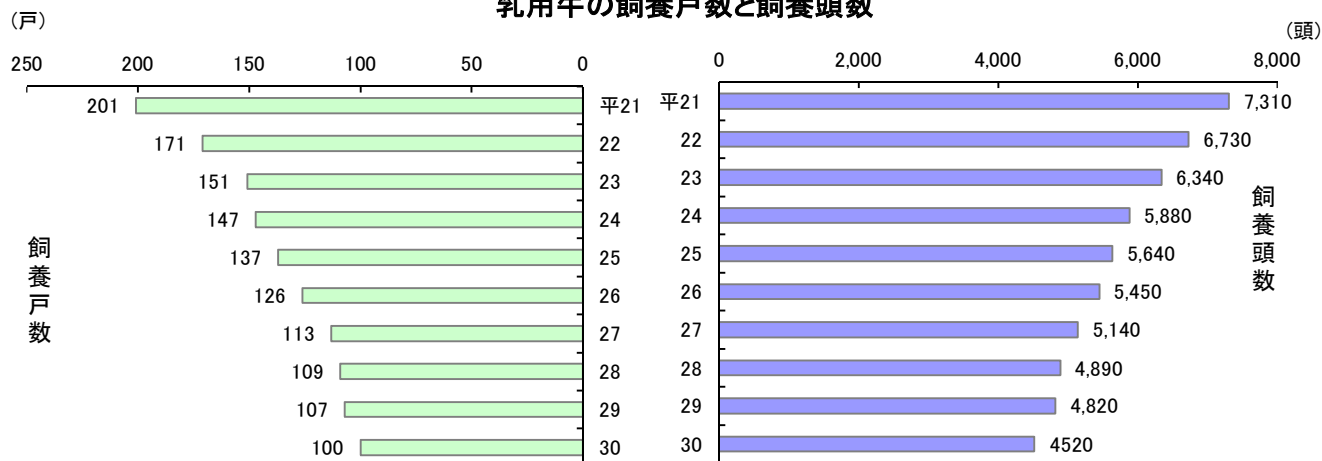
資料：農林水産省「作物統計調査」

——阿波晩茶——

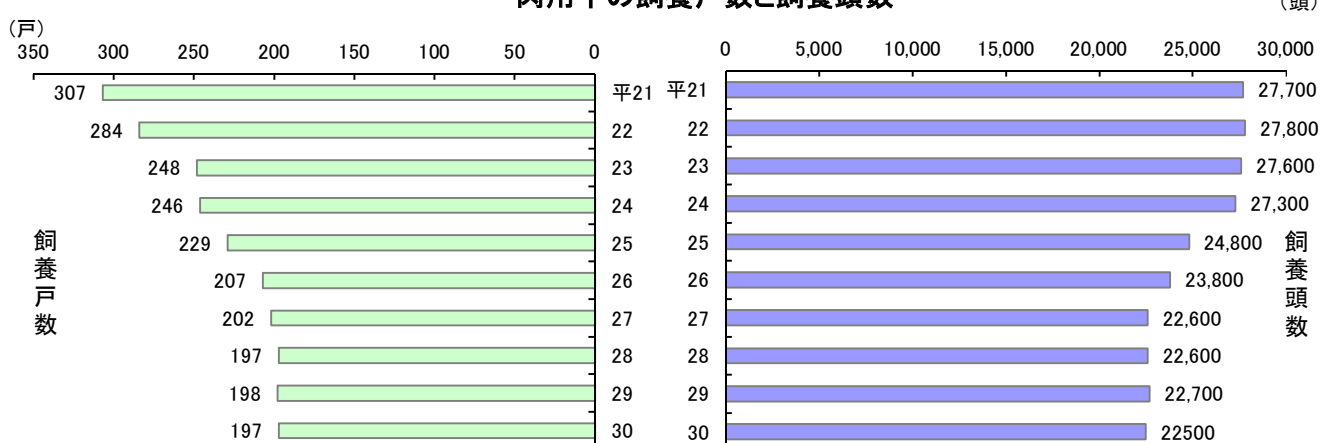
上勝町・那賀町等、本県の南西部で製造されている「阿波晩茶」は、夏場に刈り取った茶葉を蒸してから桶に数週間つけこんで発酵させる発酵茶である。近年、健康ブームによって注目されている。また、愛媛の「石鎚黒茶」、高知の「碁石茶」と共に「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択された (H30. 8)。

(7) 畜産

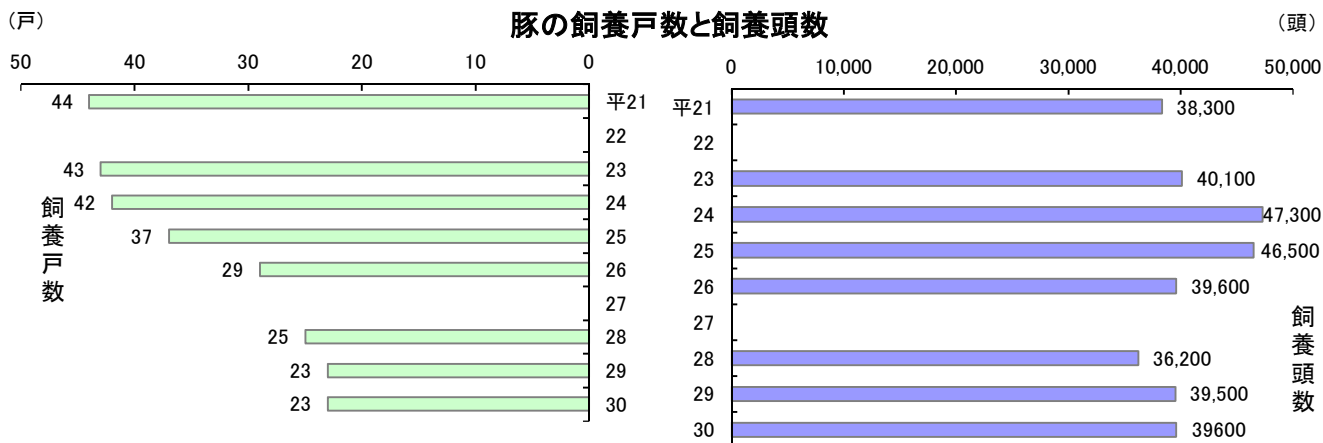
乳用牛の飼養戸数と飼養頭数



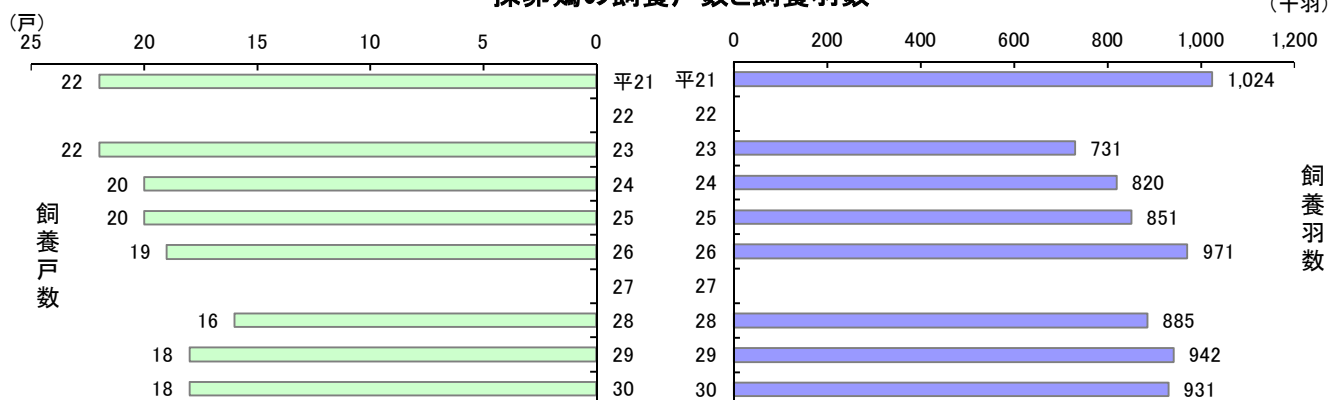
肉用牛の飼養戸数と飼養頭数



豚の飼養戸数と飼養頭数

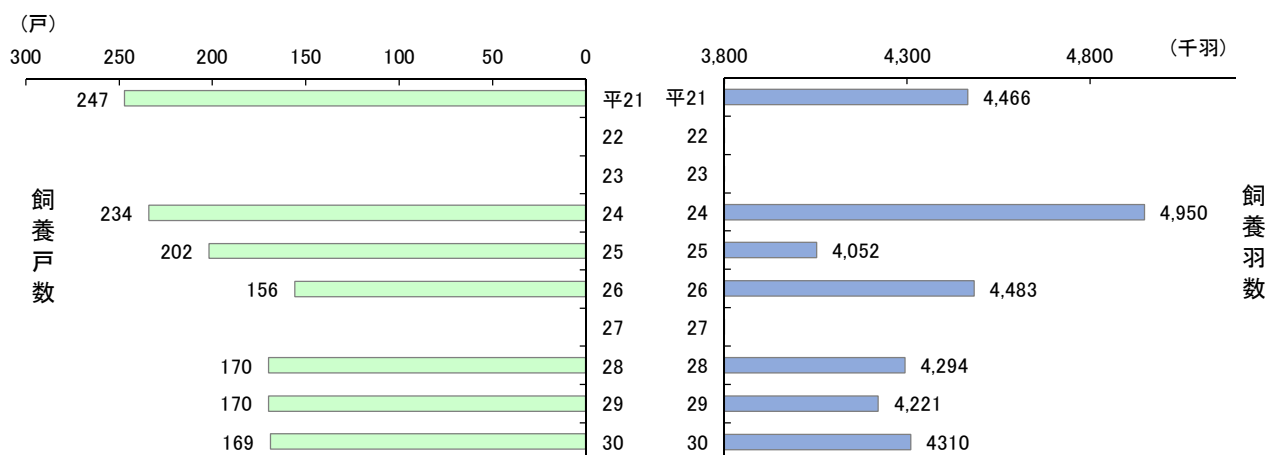


採卵鶏の飼養戸数と飼養羽数



注：平成22年、27年の豚、採卵鶏の調査休止。

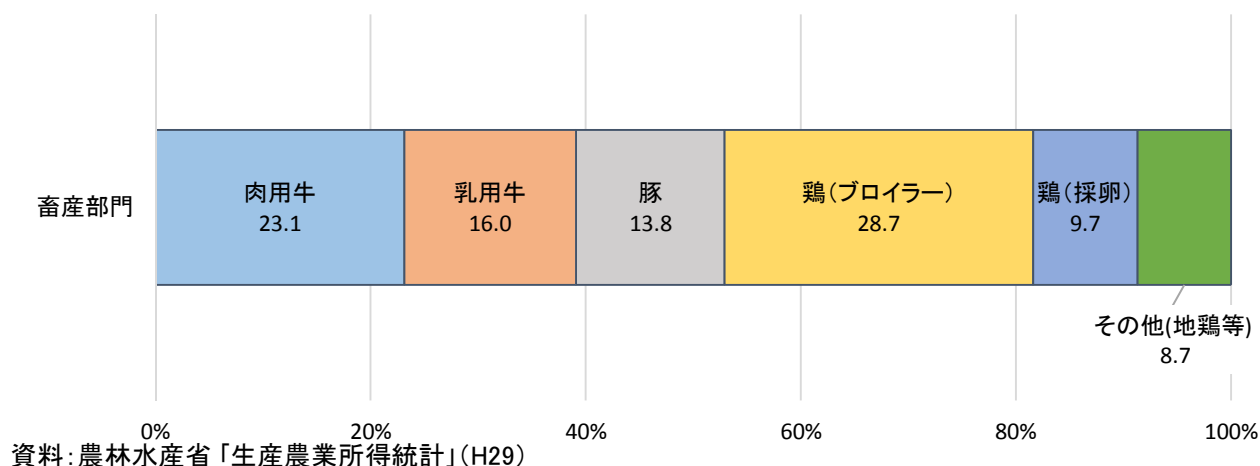
ブロイラーの飼養戸数と飼養羽数



注：平成22年、23年、27年のブロイラーは調査休止。

資料：農林水産省「畜産統計」

農業算出額畜産部門構成比(平29)



資料：農林水産省「生産農業所得統計」(H29)

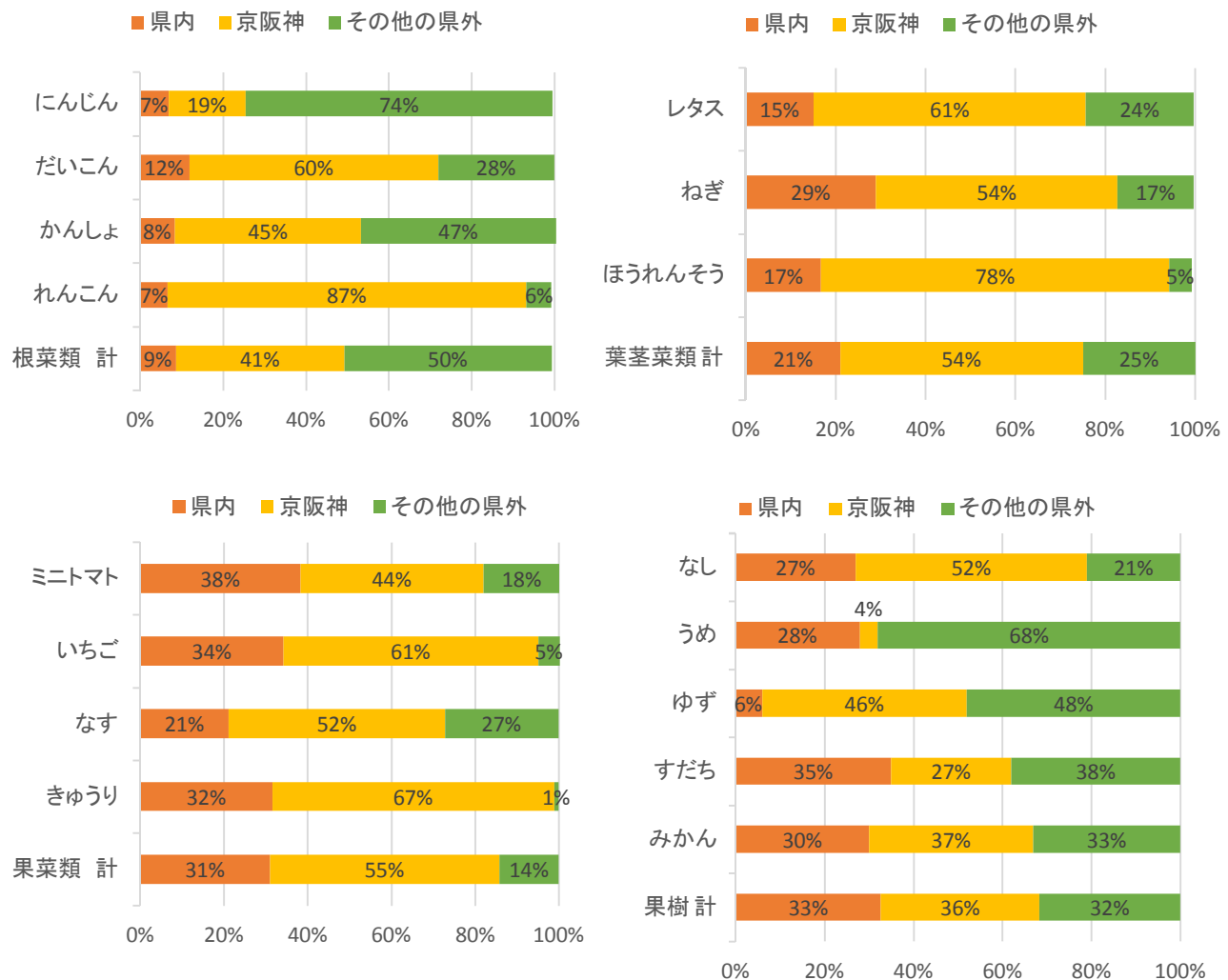
—— 高品質で安全・安心な畜産物の供給 ——

畜産業の振興を図るため、活力ある畜産経営の拡大支援や担い手を対象とした畜産物等価格安定対策、家畜改良増殖、家畜伝染病対策、家畜衛生及び処理・加工、流通施設の近代化、自給飼料の生産拡大等力強い生産供給体制の確立を推進している。とりわけ、本県が開発した地鶏「阿波尾鶏」は、全国で初めて地鶏肉の日本農林規格（JAS）格付品として流通する等、安全で高品質な畜産ブランドの安定供給に努めている。

また、環境に配慮した農業の一環として、家畜ふん尿の適正処理及び畜産バイオマス資源の循環利用等の家畜環境対策を推進している。

3 農産物仕向先別出荷動向（野菜：平29 果樹：平26）

主な野菜・果樹の仕向先別金額割合（根菜類・葉茎菜類・果菜類・果樹）



資料：徳島県「徳島の園芸」

——京阪神への安定供給が続く——

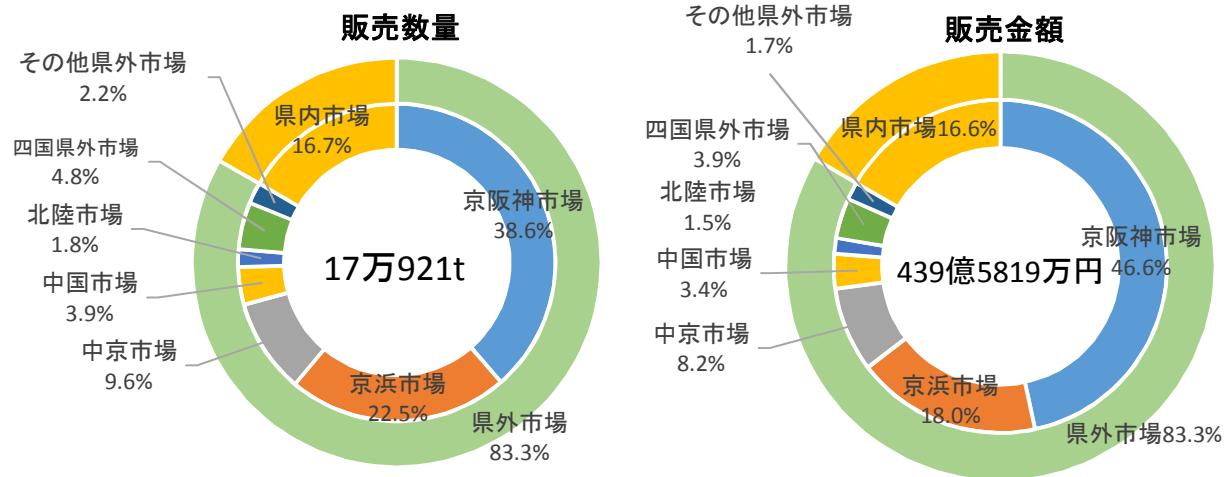
本県は恵まれた立地条件を活かしながら、多様化した消費者動向に即応して、近畿圏等への生鮮食料品の安定供給を続けている。

平成29年における徳島県産野菜の市場向け販売数量は17万921 t で、前年に比べ2725 t（1.02%）増加、同販売金額は439億5,819万円で、前年に比べ200万円（4.3%）減少した。このうち、京阪神市場は、販売数量で38.6%、販売金額で46.6%を占めている。

平成26年における果実販売数量は2万1,477 t で、前年に比べ185 t（1.0%）減少、同販売金額は70億327万円で、前年に比べ4億2,730万円（6.5%）増加した。このうち、京阪神市場は、販売数量で32.4%、販売金額で35.6%を占めている。

4 青果物販売動向

(1) 野菜類 (平29)

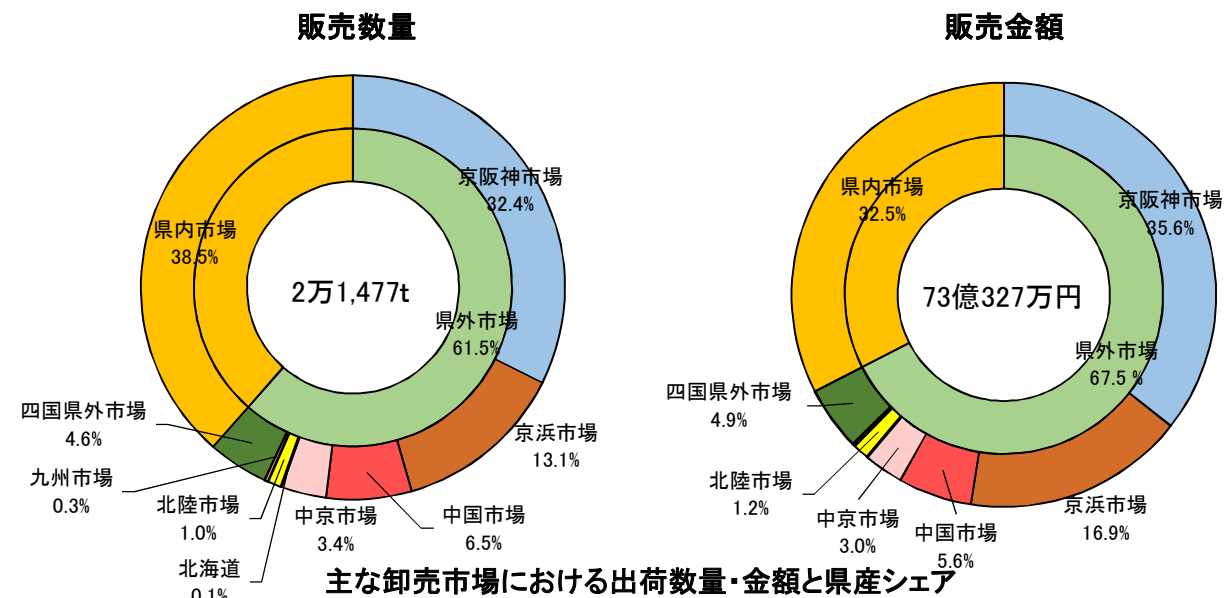


主な卸売市場における出荷数量・金額と県産シェア

区 分	総量		うち徳島県産		本県産比率	
	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	金額(百万円)	数量(%)	金額(%)
京阪神主要6市場	1,038,616	233,016	50,069	19,121	4.8	8.2
大阪市中心市場本場	369,544	89,174	18,649	7,392	5.0	8.3
大阪市中心市場(東部市場)	128,419	25,793	5,357	2,076	4.2	8.0
大阪府中央市場	149,320	35,376	7,737	3,022	5.2	8.5
神戸市中心市場本場	108,888	22,735	5,874	2,327	5.4	10.2
神戸市中心市場(東部市場)	23,100	5,844	2,800	1,197	12.1	20.5
京都市中央市場	259,345	54,094	9,652	3,108	3.7	5.7
東京都中央市場	1,550,922	389,505	21,333	5,088	1.4	1.3
名古屋市中心市場	397,262	91,615	10,533	3,148	2.7	3.4
徳島市中心市場	57,351	13,541	28,844	8,020	50.3	59.2

資料：対象卸売市場「市場年報」（うめ、ゆず、すだち、ゆこう、ぎんなん、かぼす、きのご類を含む）

(2) 果実類 (平26)



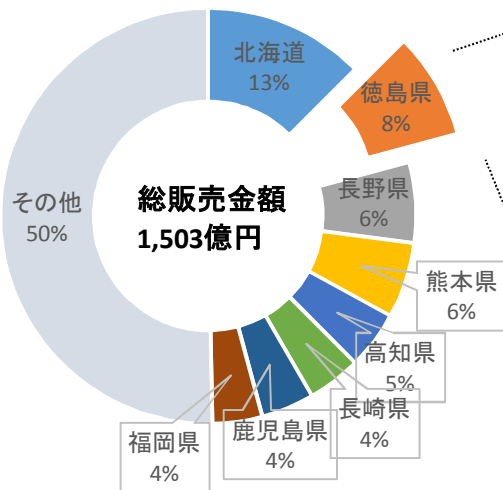
主な卸売市場における出荷数量・金額と県産シェア

区 分	総量		うち徳島県産		本県産比率	
	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	金額(百万円)	数量(%)	金額(%)
東京都中央市場	466,968	163,003	722	207	0.2	0.1
大阪市中心市場本場	152,209	54,439	3,042	1,662	2.0	3.1
大阪市中心市場(東部市場)	54,481	15,312	477	261	0.9	1.7
大阪府中央市場	70,451	20,100	976	360	1.4	1.8
神戸市中心市場本場	32,102	9,696	688	139	2.1	1.4
神戸市中心市場(東部市場)	9,789	3,518	106	32	1.1	0.9
徳島市中心市場	18,159	5,265	8,531	2,364	47.0	44.9

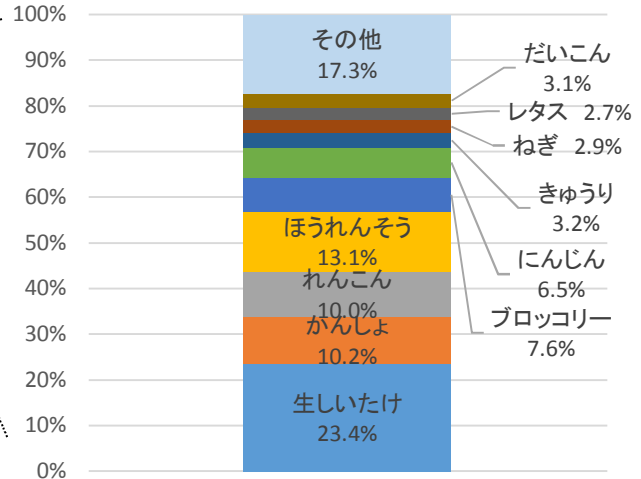
資料：対象卸売市場「市場年報」（いちご、すいか、メロン類を含む）

5 大阪中央卸売市場での県産野菜の位置（平成29年1月～12月）

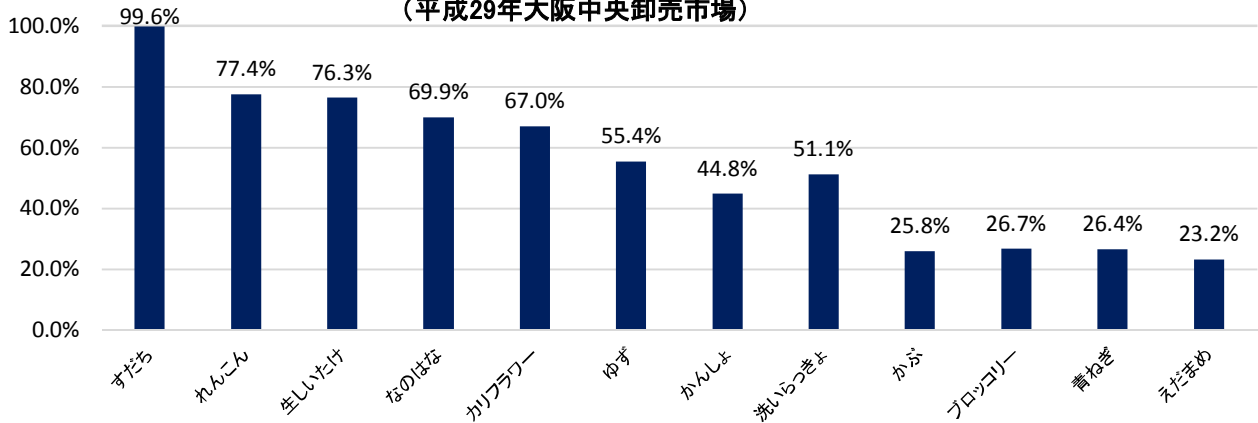
大阪中央卸売市場における
産地別販売状況



徳島県産野菜の品目別販売金額割合



徳島県産の販売金額占有率20%以上の品目
（平成29年大阪中央卸売市場）



単位：百万円

		すだち	れんこん	生しいたけ	なのはな	カリフラワー	ゆず	かんしょ	洗いらっきょ	かぶ	ブロッコリー	青ねぎ	えだまめ
販売金額占有率		99.6%	77.4%	76.3%	69.9%	67.0%	55.4%	44.8%	44.3%	25.8%	26.7%	26.4%	23.1%
第1位	都道府県・国	徳島	徳島	徳島	徳島	徳島	徳島	徳島	鳥取	徳島	徳島	徳島	岐阜
	金額	387	1,278	3,005	261	135	101	1,312	115	89	971	358	262
第2位	都道府県・国	高知	佐賀	岐阜	兵庫	長野	高知	茨城	徳島	福岡	北海道	香川	徳島
	金額	1	217	233	39	39	46	551	99	64	682	321	261
第3位	都道府県・国	和歌山	茨城	長崎	和歌山	福岡	愛媛	宮崎	高知	青森	長野	三重	秋田
	金額	0	118	144	37	8	25	314	10	52	455	192	114

資料：大阪市中央卸売市場、大阪府中央卸売市場「市場年報」

——大阪中央卸売市場で上位を占める県産野菜——

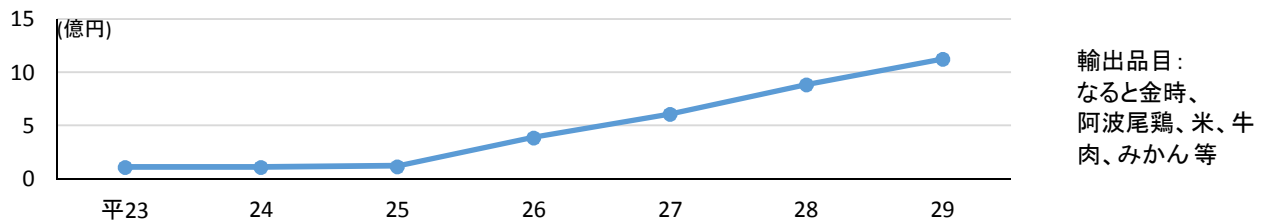
平成29年の大阪中央卸売市場における徳島県産の野菜販売金額は124億8,975万円（前年比2.6%増）であり、これは市場全販売金額の8.3%を占めており、北海道に次いで第2位となっている。

県販売金額総額に占める割合を品目別にみると、生しいたけ（23.4%）、かんしょ（10.2%）、れんこん（10.0%）、ほうれんそう（13.1%）、ブロッコリー（7.6%）、にんじん（6.5%）、きゅうり（3.2%）、ねぎ（2.9%）、レタス（2.7%）、だいこん（3.1%）と本県の特産品が上位に並んでいる。

また、販売金額占有率20%以上の品目を産地別にみると、すだち、れんこん、生しいたけ、なのはな、カリフラワー、ゆず、かんしょ、かぶ、ブロッコリー、青ねぎの10品目で第1位であり、大阪中央卸売市場では徳島県が野菜の大きな供給地となっている。

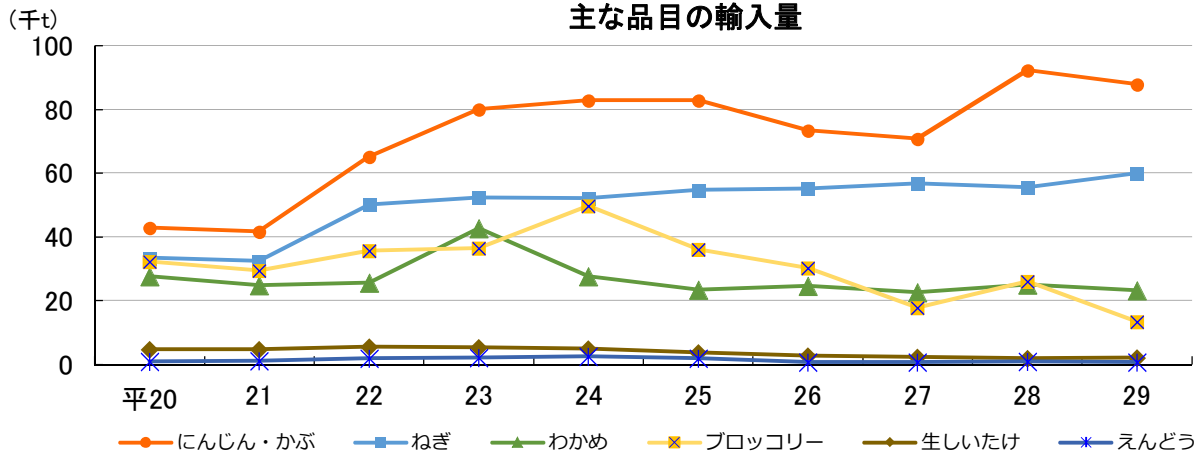
6 主な農林水産物の輸出・輸入動向

輸出額の推移

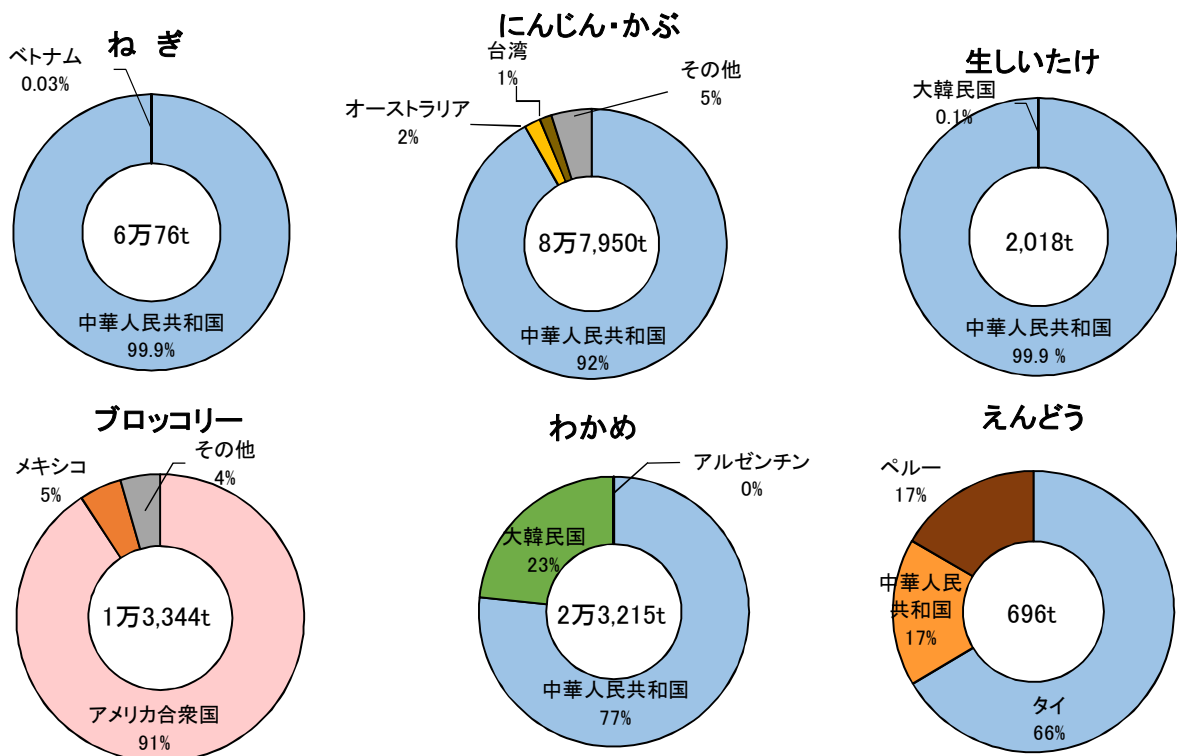


資料：もうかるブランド推進課調べ

主な品目の輸入量



主な品目の輸入国割合(平29)



資料：財務省「貿易統計」

——輸出額の伸びは堅調、平成29年の輸入生鮮野菜は増加——

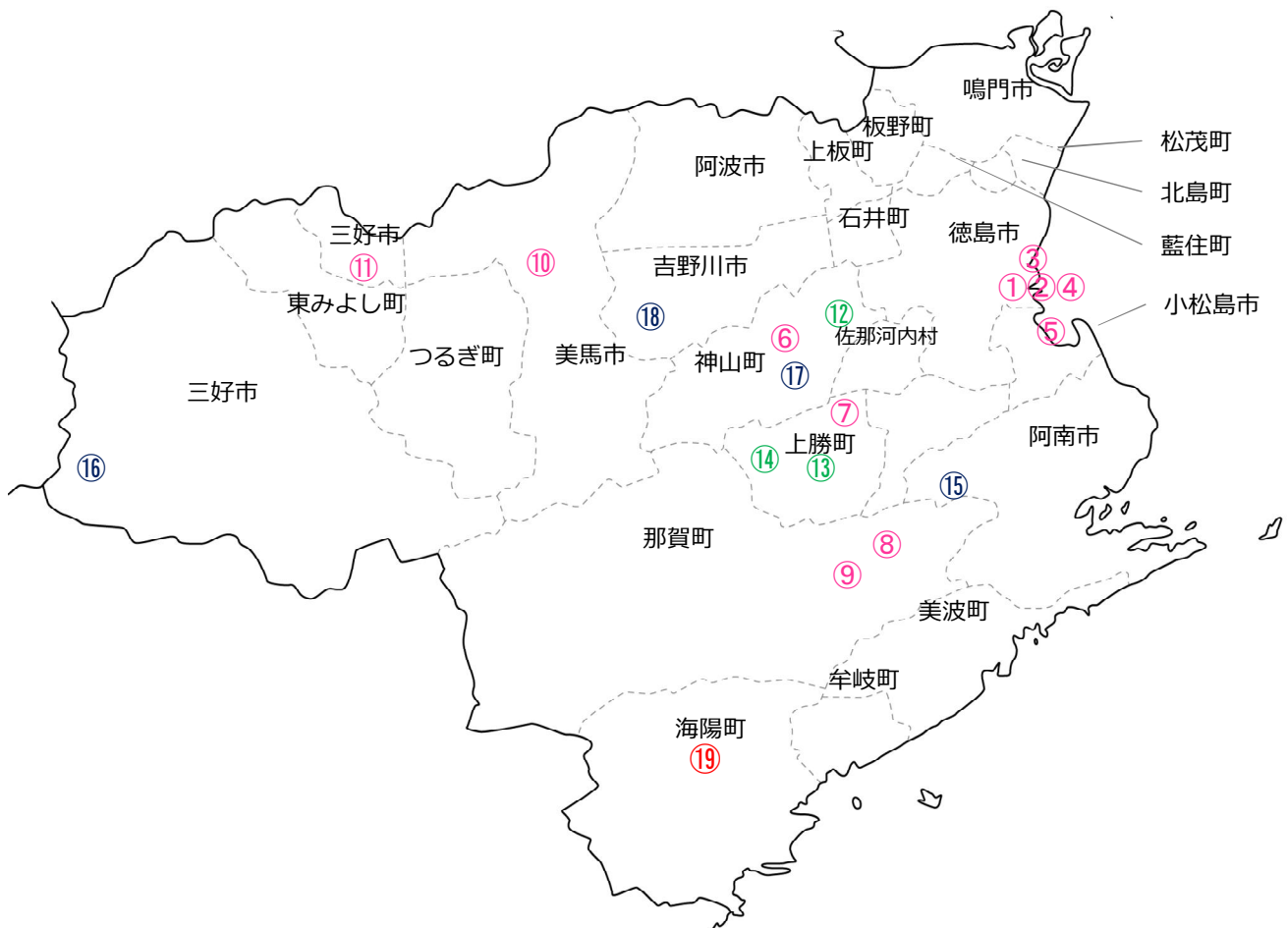
平成29年度の輸出実績は、約11.3億円にのぼり、調査を開始した平成23年度約1.1億に比べ10倍以上となっている。

平成29年に輸入された野菜（生鮮・冷蔵）は80万7,367 tで、前年に比べ5,216 t（前年比14.8%）増となった。

また、主な輸入先は中国（63.7%）、メキシコ（6.62%）、大韓民国（5.16%）であり、この上位3か国で75.5%を占めている。一方、冷凍野菜の輸入量は94万4,811 tで、前年に比べ3万2,643 t（前年比3.6%）増加している。

Ⅲ 林 業

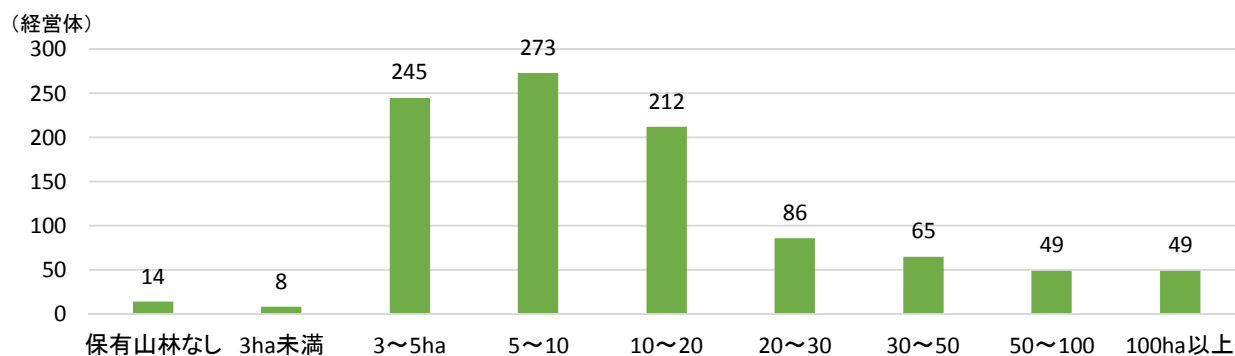
1 徳島県の主な林業施設等の設置状況 (平成31年3月現在)



木材市場	森林総合利用施設
1 徳島 東部 徳島県木材センター(協)	12 徳島 東部 神山森林公園 イルローザの森
2 徳島 東部 大一木材(株)	13 徳島 東部 高丸山千年の森
3 徳島 東部 (株)徳島中央木材市場	14 徳島 東部 高丸山千年の森ふれあい館
4 徳島 東部 丸幸産業(株)	
5 徳島 東部 (株)ゲンボク	その他の施設等
6 徳島 東部 徳島中央森林組合神山共販所	15 阿南・那賀 フォレストキャンパス 那賀
7 徳島 東部 徳島中央森林組合上勝共販所	16 三 好 フォレストキャンパス 三好
8 阿南・那賀 木頭森林組合相生木材センター	17 神 山 フォレストキャンパス 徳島
9 阿南・那賀 木頭森林組合共販所横石木材センター	18 吉 野 川 フォレストキャンパス 吉野川
10 美 馬 美馬郡木材(協)	19 美 波 フォレストキャンパス 美波
11 三 好 三好木材センター事業(協)	

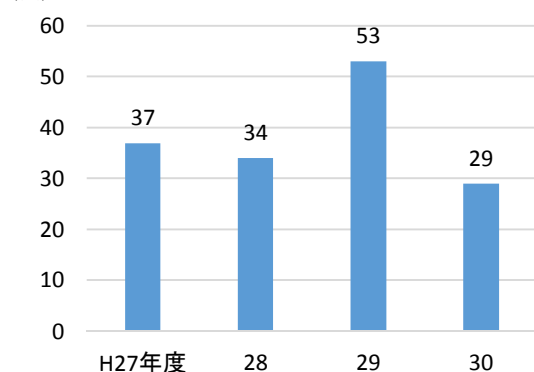
2 林業経営体数及び森林面積

(1) 保有山林面積規模別林業経営体数(平27)

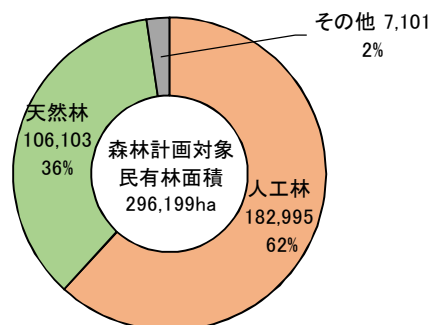


資料：農林水産省「2015年農林業センサス」

(人) 新規林業就業者数の推移

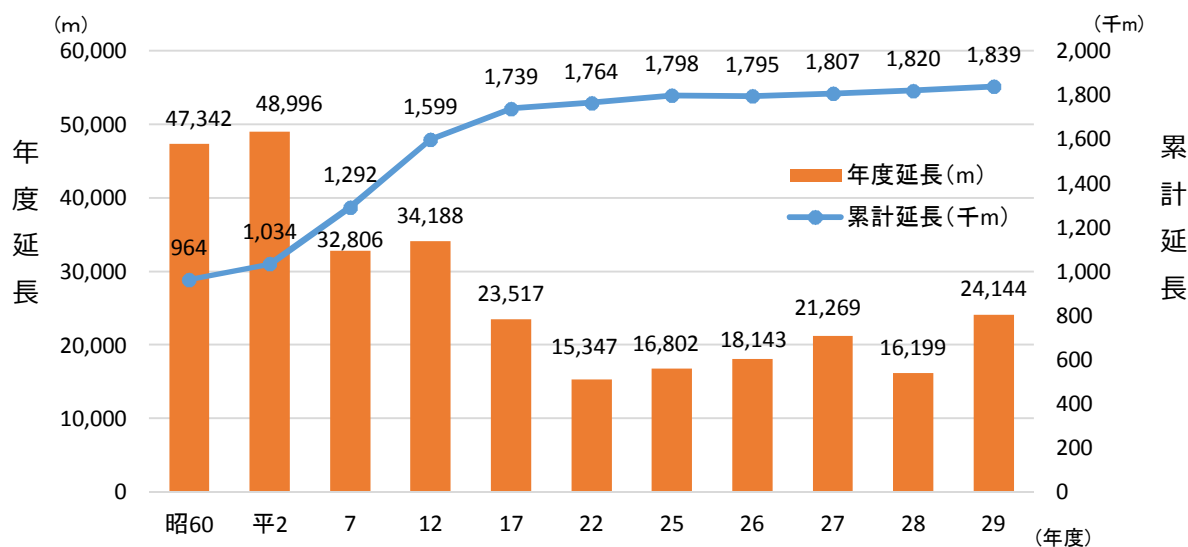


(2) 森林面積の構成比(計画対象民有林)(平29)



資料：徳島県「平成30年度みどりの要覧」

(3) 林道開設延長の推移



資料：徳島県「平成29年度みどりの要覧」

——民有林が中心の森林資源——

2015年農林業センサスにおける本県の林業経営体数(※)は1,001経営体である。

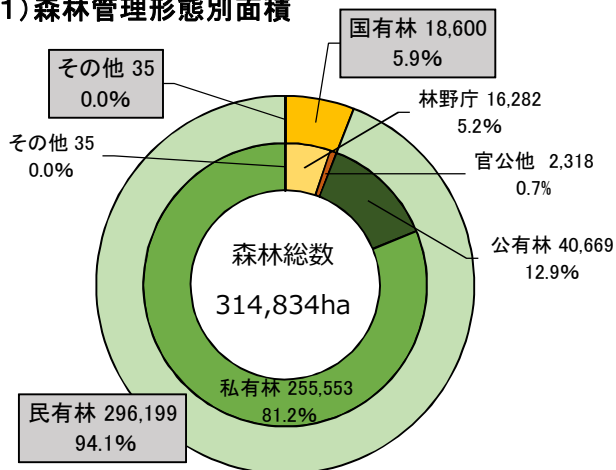
保有林山林規模別にみると、林業経営体数の73.3%を5ha以上が占めている。

平成29年の民有林の森林計画対象面積は29万6,199haで、うち人工林が18万2,995ha、天然林が10万6,103haで、人工林率は約62%となっている。

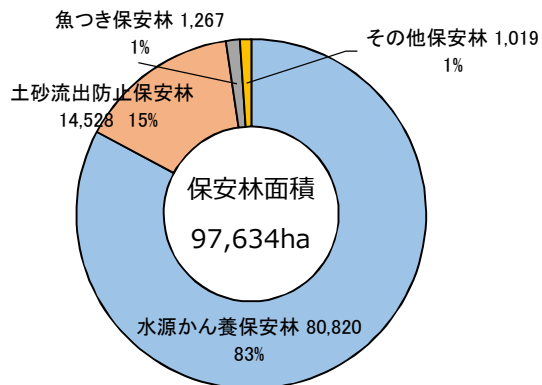
※ 「林業経営体」とは、「保有山林面積が3ha以上かつ過去5年間に林業作業を行うか森経営計画を作成している」、「委託を受けて育林を行っている」又は「委託や立木の購入に過去1年間に200㎡以上の素材生産を行っている」のいずれかに該当する者

3 森林資源（平29）

(1) 森林管理形態別面積

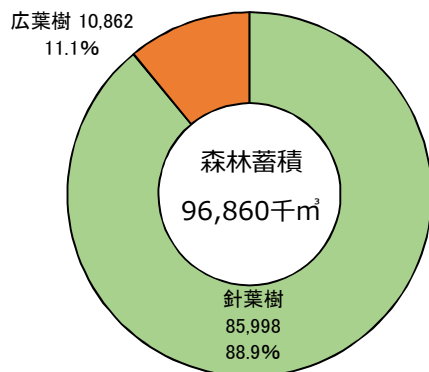


(2) 保安林面積の現況(民有林)

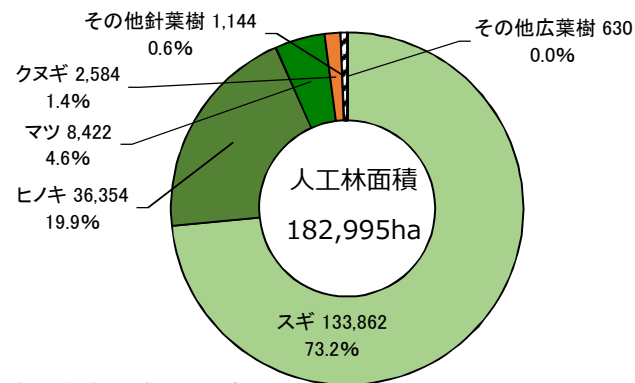


資料：徳島県「平成30年度みどりの要覧」

(3) 森林蓄積の構成比(計画対象民有林)

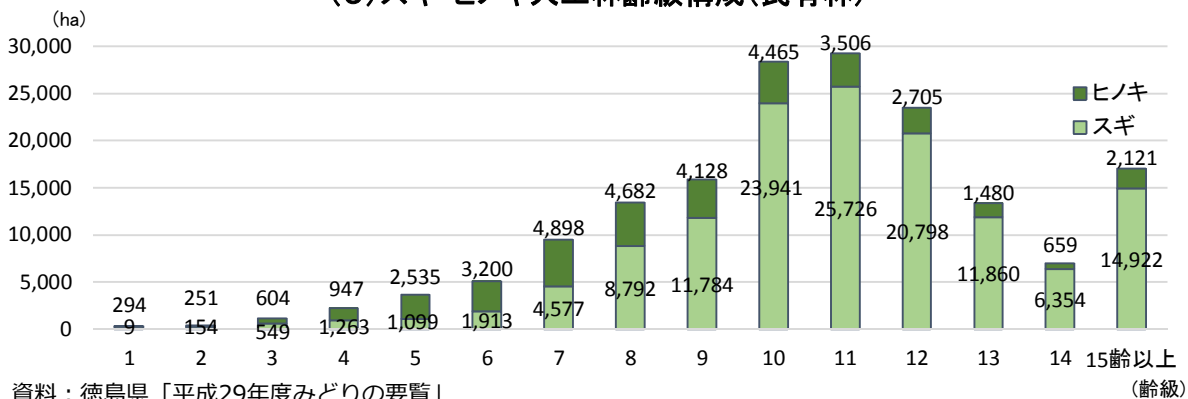


(4) 人工林樹種別面積(計画対象民有林)



資料：徳島県「平成30年度みどりの要覧」

(5) スギ・ヒノキ人工林齢級構成(民有林)



資料：徳島県「平成29年度みどりの要覧」

——公益的機能の発揮と地球温暖化防止森林吸収源対策に向けて——

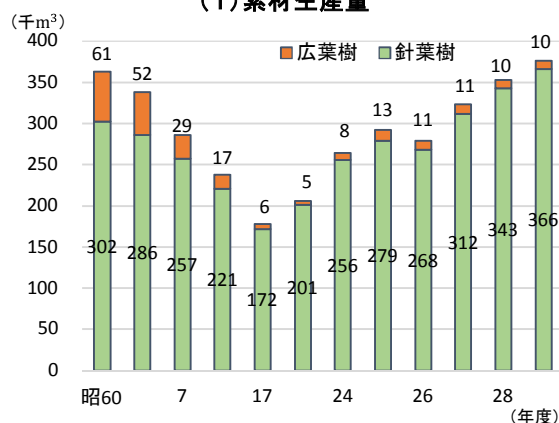
平成29年の森林面積は31万4,834haで県土の76%を森林が占めており、そのうち民有林面積は29万6,199haである。

本県の森林の94%占める民有林は、スギ・ヒノキなどの人工林が62%を占めており、そのうち8-10齢級（36～50年生）の緊急に間伐が必要な森林が約3割を占めている。

この森林を「水源かん養機能」、「山地災害防止・土壌保全機能」、「快適環境形成機能」、「保健文化機能」、「木材等生産機能」の5つの機能維持増進森林に区分し、間伐対策の推進や複層林の導入、林道等路網の整備、治山施設の効率的設置等に取り組むとともに、「徳島県豊かな森林を守る条例」に基づく森づくりの推進と適正な保安全管理を推進することにより各種機能が発揮される健全な森林づくりを進めている。

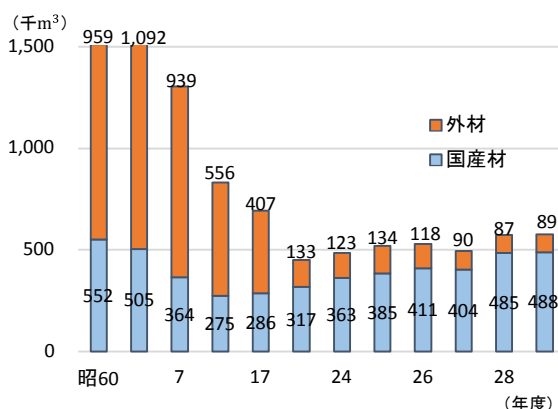
4 林業生産

(1) 素材生産量



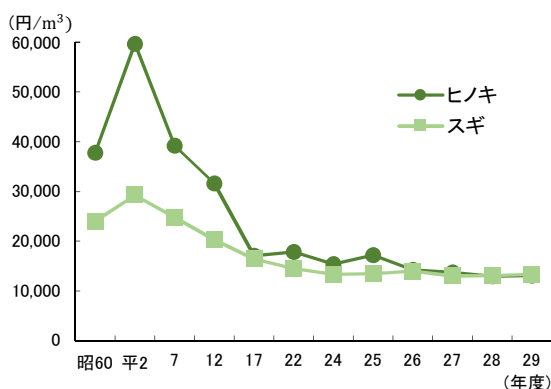
資料：徳島県「平成30年度みどりの要覧」

(2) 素材需要量



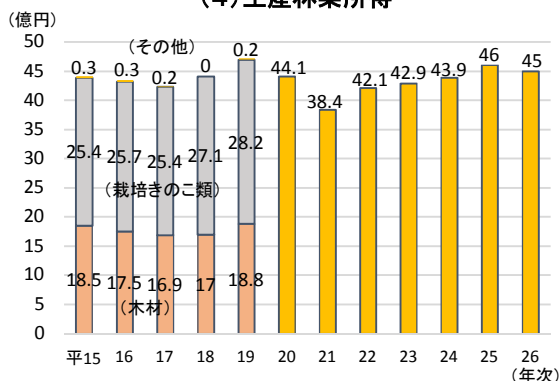
資料：徳島県「平成30年度みどりの要覧」

(3) 県内木材価格の推移



資料：徳島県「平成30年度みどりの要覧」

(4) 生産林業所得

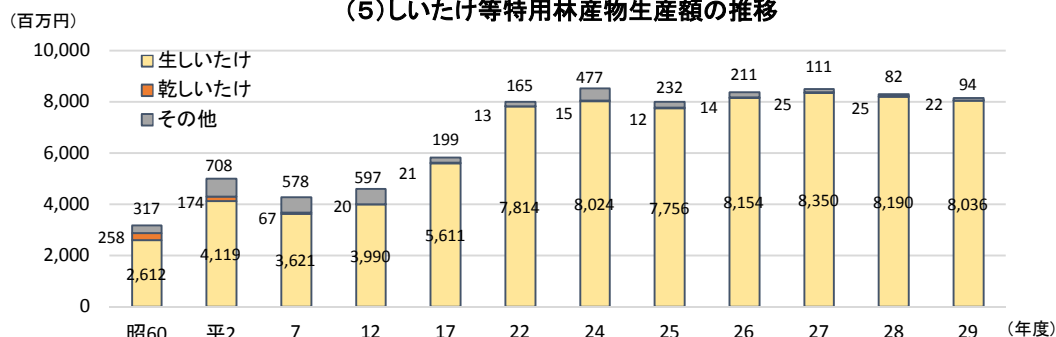


注：平成27年から県別のデータなし。

注：平成20年から木材、栽培きのご類、その他の区分なし。

資料：農林水産省「生産林業所得統計」

(5) しいたけ等特用林産物生産額の推移



資料：徳島県「平成30年度みどりの要覧」

——県産材の生産拡大と木材産業の体質強化を目指す——

林業や木材産業の振興はもとより、山村の活性化や森林の適正な整備につながる県産木材の需要拡大を図るため、「徳島県県産材利用促進条例」に基づき県産木材の良さと利用を普及啓発するとともに、県産木造住宅の普及、公共施設や土木工事での使用を積極的に進めている。

平成29年の素材生産量は約37万5,000m³で、前年に比べ約2万2,000m³（6%）増加した。一方、素材需要量は約57万7,000m³で、前年に比べ約5,000m³（0.9%）増加した。

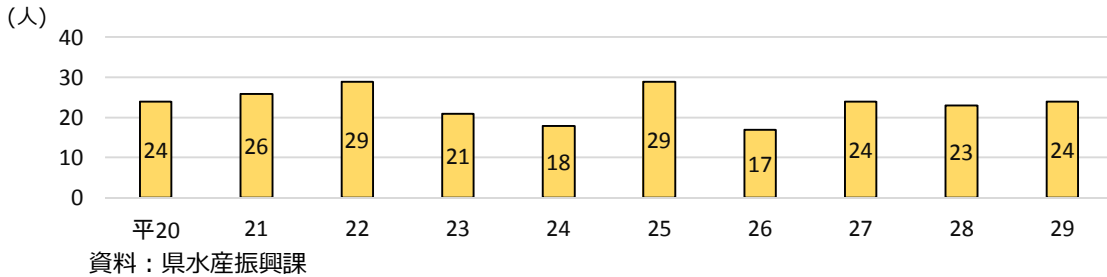
しいたけ等特用林産物の生産額は約82億円で、前年に比べ約1億4,200万円（2%）減少した。

本県の生しいたけ生産量のうち、約99%は菌床栽培で生産されており、その生産量は14年連続全国第一位である。

Ⅳ 水 産 業

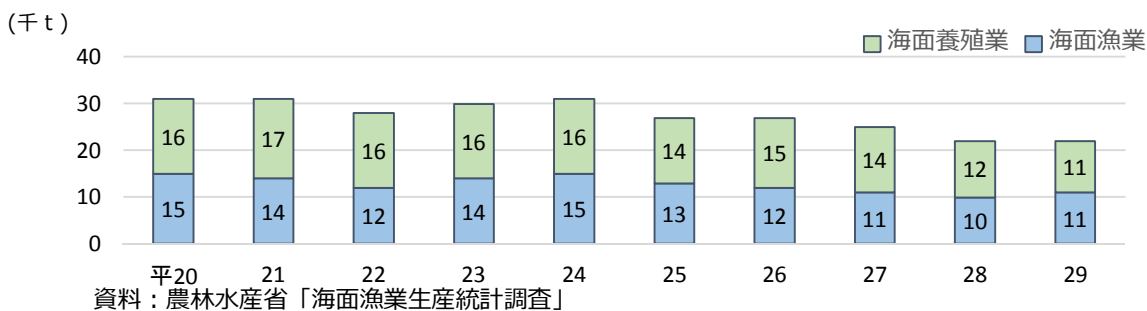
漁場環境・資源状況の悪化など水産業を取り巻く状況が変化中、本県の豊かな自然環境を活かした強い水産業を育成するため、①漁家経営の安定と担い手の育成と確保、②漁業団体の育成・強化、③漁港・海岸と漁場の整備、④適切な資源の管理と利用、⑤海面養殖業の振興、⑥内水面漁業・養殖業の振興、⑦水産物流通・加工体制の充実、⑧漁場環境の監視と保全、⑨効率的な漁場利用の推進を主要施策として各種事業に取り組んでいる。

新規漁業就業者数の推移



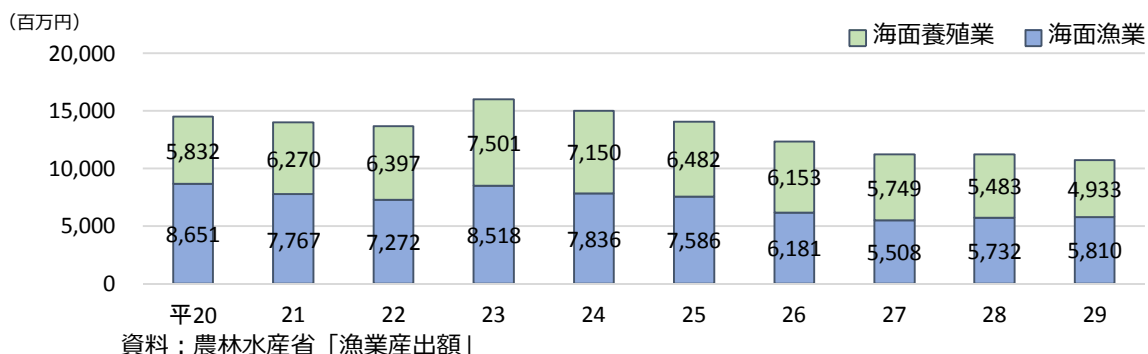
1 海面漁業

(1) 徳島県における海面漁業・養殖業生産量の推移



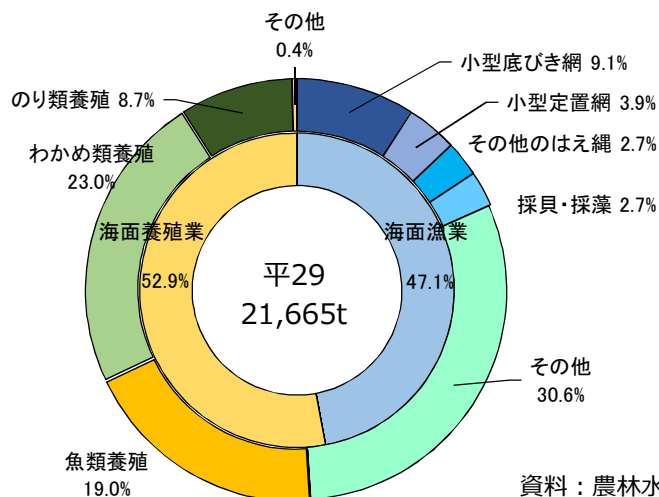
平成29年の海面漁業・養殖業生産量は、2万1,665 tで前年に比べ292 t (1.3%)の減少となった。内訳をみると、海面漁業の漁獲量が246 t (2.3%)増加し、海面養殖業の収穫量が538 t (4.6%)減少となった。

(2) 徳島県における海面漁業・養殖業産出額の推移



平成29年の海面漁業・養殖業産出額は107億4,300万円で、前年に比べ減少となった。内訳をみると、海面漁業が58億円、海面養殖業は49億円となっている。

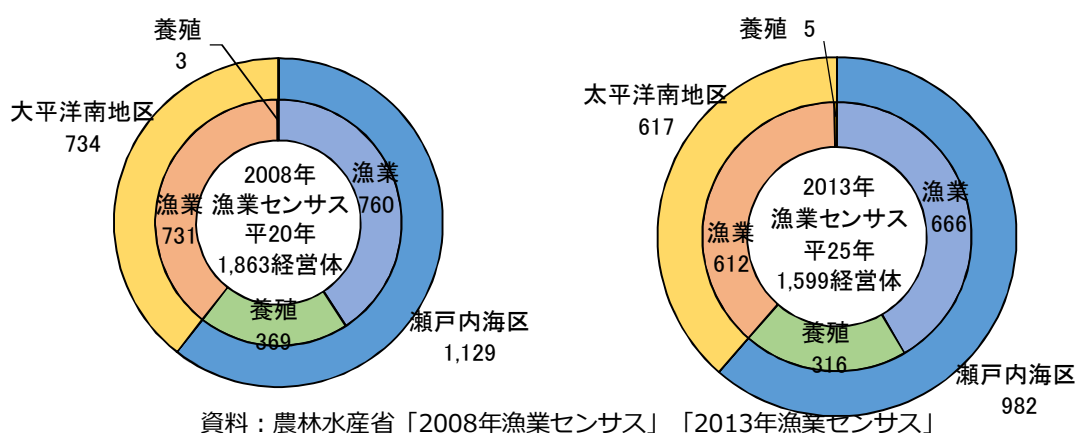
(3) 海面漁業・養殖業の漁業種別漁獲量及び収穫量割合(平29)



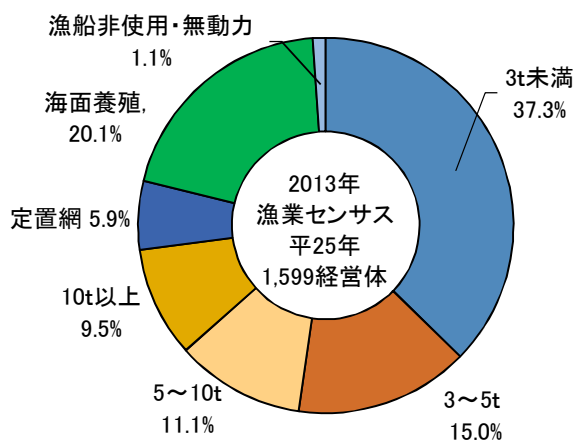
資料：農林水産省「海面漁業生産統計調査」(平29)

2 海面漁業の生産構造

(1) 海区別経営体数

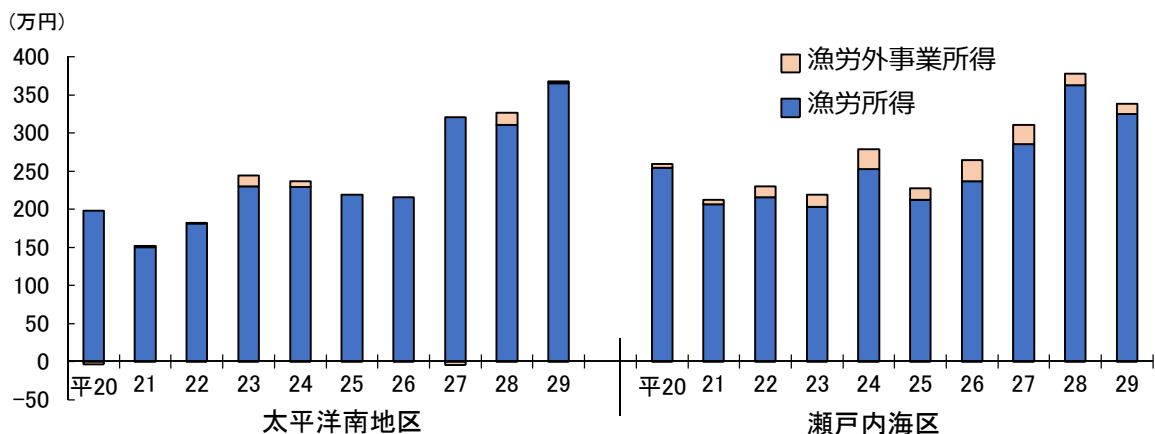


(2) 経営体別階層別経営体数の構成割合



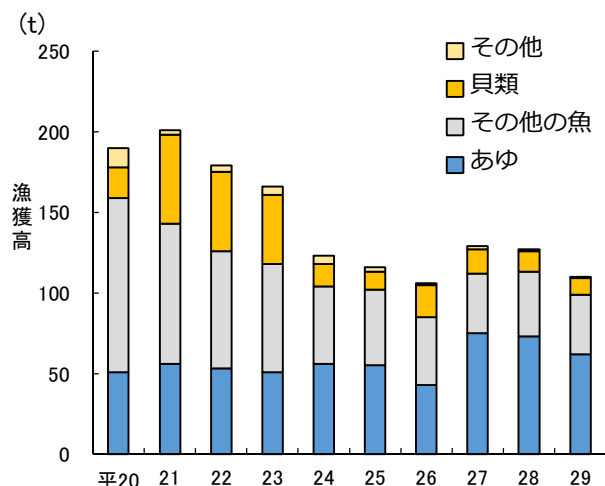
資料：農林水産省「2013年漁業センサス」

(3) 経営体総所得



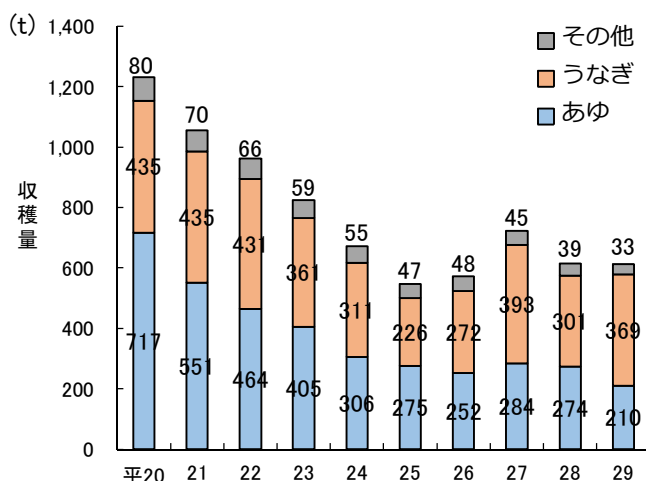
3 内水面漁業の生産量

(1)内水面漁業魚種別漁獲量



資料：農林水産省「内水面漁業生産統計調査」

(2)内水面養殖業魚種別収穫量



資料：農林水産省「内水面漁業生産統計調査」

——うなぎの養殖は全国第6位——

平成29年の販売を目的とした内水面漁業の漁獲量は110tとなった。魚種別にみると、あゆの漁獲量が62t、その他の魚の漁獲量が37tとなっている。また、平成29年の内水面養殖業の収穫量は612tで、前年に比べ2t (0.3%) 減少した。これを養殖種類別にみると、うなぎ養殖の収穫量が68t (22.6%) 増加し、あゆ養殖の収穫量は64t (23.4%) 減少となっている。うなぎ、あゆの生産量はそれぞれ全国第6位と上位になっている。

4 全国から見た徳島の漁業

平成29年における主要魚種別漁獲量・収穫量と全国順位

順位	第3位	第5位	第5位	第6位
種類	わかめ類 (養殖)	あわび類	いせえび	あゆ (養殖)
徳島県 (t)	4,992	59	83	210
全国 (t)	51,114	964	1,075	5,053

順位	第6位	第8位	第8位	第9位
種類	うなぎ (養殖)	たちうお	しらす	ぶり養殖
徳島県 (t)	369	291	2,799	3,565
全国 (t)	20,979	6,331	50,855	98,266

——わかめ類の養殖は全国第3位——

平成29年における主要魚種別漁獲量・収穫量と全国順位をみると、養殖わかめの収穫量が4,992tであり、岩手県、宮城県に続き全国第3位となっている。また、あわび類が59t、いせえびが83tでそれぞれ全国第5位。養殖うなぎが369t、養殖あゆが210tでそれぞれ全国第6位。たちうおが291t、しらすが2,799tでそれぞれ全国第8位。養殖ぶりが3,565tで全国第9位となっている。

V 統計表

1 産業別概要

(1) 産業別就業者数

単位：人

年次	総数	第1次産業				第2次産業	第3次産業	分類不能の産業
		計	農業	林業	漁業			
平 7	406,031	49,349	43,357	1,255	4,737	124,049	230,443	2,190
12	390,509	40,352	35,487	846	4,019	112,939	232,078	5,140
17	373,825	36,475	32,600	604	3,271	95,211	235,209	6,930
22	347,093	29,377	25,876	837	2,664	81,147	223,375	13,194
27	342,906	28,086	24,954	822	2,310	80,079	223,895	10,846

資料：総務省統計局「国勢調査」

(2) 経済活動別県内総生産

単位：億円

年次	県内総生産	第1次産業				第2次産業	第3次産業	輸入税	総資本形成に係る消費税（控除）
		計	農業	林業	水産業				
平 23	29,223	613	466	61	86	9,477	18,969	330	167
24	28,683	650	510	62	79	9,137	18,713	330	148
25	29,781	596	459	66	71	9,838	19,105	377	134
26	30,458	563	428	70	65	10,231	19,379	515	229
27	30,837	605	467	74	64	10,076	19,863	509	215

注：県民活動別総生産については、四捨五入していることから合計と内訳が一致しない場合がある。

資料：徳島県「平成27年度徳島県県民経済計算」

2 農 業

(1) 農業経営体数(経営耕地面積規模別経営体数)

単位：経営体

年次	農業経営体	家族経営	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0ha以上
平 22	22,046	21,839	6,281	9,075	3,620	1,511	1,026	533
平 27	18,513	18,272	5,301	7,332	3,031	1,296	919	634

資料：農林水産省「2010年農林業センサス」「2015年農林業センサス」

(2) 自営農業従事日数別農業従事者数(過去1年間に農業に1日以上従事した世帯員数)

単位：人

年次	男女計	男							女						
		小計	1～29日	30～59	60～99	100～149	150～199	200日以上	小計	1～29日	30～59	60～99	100～149	150～199	200日以上
平 22	59,029	31,015	8,054	4,197	3,905	3,156	2,311	9,332	28,014	8,314	3,931	3,092	2,770	2,106	7,801
平 27	44,659	23,953	5,340	3,646	2,629	2,497	1,999	7,842	20,706	5,656	3,087	2,090	2,056	1,672	6,145

資料：農林水産省「2010年農林業センサス」「2015年農林業センサス」

(3) 農業就業人口(自営農業に主として従事した世帯員数)

単位：人

年次	男女計	男							女						
		小計	15～29歳	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上	小計	15～29歳	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上
平 22	38,311	18,376	895	654	810	2,128	2,556	11,333	19,935	506	637	1,069	3,108	2,627	11,988
平 27	30,217	15,285	445	671	753	1,383	2,103	9,930	14,932	250	411	738	1,851	2,290	9,392

資料：農林水産省「2010年農林業センサス」「2015年農林業センサス」

(4) 基幹的農業従事者数(農業就業人口のうち、ふだん仕事として自営農業に従事した世帯員数)

単位：人

年次	男女計	男							女						
		小計	15～29歳	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上	小計	15～29歳	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上
平 22	28,032	14,967	307	591	765	2,025	2,344	8,935	13,065	78	281	684	2,285	1,905	7,832
平 27	22,122	12,209	208	615	696	1,279	1,822	7,589	9,913	59	237	516	1,359	1,630	6,112

資料：農林水産省「2010年農林業センサス」「2015年農林業センサス」

(5) 耕地種類別面積及び耕地利用率

単位：ha, %

年次	合計	田			畑				耕地利用率
		小計	普通田	特殊田	小計	普通畑	樹園地	牧草地	
平21	31,300	20,800	20,300	543	10,500	5,780	4,530	177	93.6
22	31,100	20,700	...	...	10,400	5,780	4,450	153	92.3
23	30,900	20,700	...	...	10,300	5,760	4,370	135	91.6
24	30,800	20,600	...	...	10,200	5,740	4,320	115	90.3
25	30,600	20,500	...	...	10,100	5,690	4,270	113	89.9
26	30,400	20,400	...	...	9,970	5,660	4,200	105	89.8
27	30,100	20,300	...	...	9,810	5,640	4,060	105	89.0
28	29,500	19,900	...	...	9,630	5,600	3,920	103	88.5
29	29,300	19,700	...	...	9,530	5,550	3,870	103	87.4
30	29,000	19,600	...	...	9,380	5,480	3,790	103	—

資料：農林水産省「作物統計調査」

(6) 農業産出額及び生産農業所得

単位：億円

年次	農 業 産出額	耕 種						畜産	加 工 農産物	生産農 業所得
		計	米	いも類	野菜	果実	花き			
平20	1,052	771	144	86	377	101	39	279	1	296
21	1,001	729	134	78	361	94	38	271	1	296
22	1,002	729	121	72	366	111	38	272	1	300
23	1,004	738	136	76	352	115	39	265	1	272
24	1,054	787	152	73	378	123	43	267	1	301
25	984	728	128	71	368	103	40	256	1	283
26	953	685	98	77	348	106	39	268	1	257
27	1,037	737	106	85	384	110	37	300	1	327
28	1,101	825	132	84	448	109	35	276	0	388
29	1,037	768	137	71	410	103	30	268	0	365

注：農業産出額の内訳は、主要品目のみ掲載。

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

 単位 {

作付面積：ha

10a当たり収量：kg

収穫量：t

(7) 水稻・麦類作付面積・収穫量

年産	水 稻			小 麦			二条大麦			裸 麦		
	作付面積	10 a 当たり 収量	収穫量	作付面積	10 a 当たり 収量	収穫量	作付面積	10 a 当たり 収量	収穫量	作付面積	10 a 当たり 収量	収穫量
平 21	13,700	471	64,500	73	205	150	13	280	36	13	158	21
22	13,500	471	63,600	×	215	×	×	294	×	27	82	22
23	13,200	463	61,100	79	295	233	13	385	50	30	187	56
24	13,200	477	63,000	75	287	215	17	338	57	37	177	65
25	13,400	487	63,500	×	277	×	×	331	×	41	217	89
26	13,200	452	59,700	66	292	193	17	362	62	49	203	99
27	11,900	457	54,400	60	296	178	20	258	52	52	178	93
28	11,700	490	57,300	64	236	151	23	178	41	58	69	40
29	11,500	480	55,200	66	300	198	25	280	70	51	206	105
30	11,400	470	53,600	56	230	129	22	223	49	60	137	82

資料：農林水産省「作物統計調査」

× 非公表

(8)野菜作付面積

単位：ha

年産	野菜計	だいこん	にんじん	れんこん	かんしょ	たけのこ	きゅうり	トマト	うちミニトマト	なす
平 21	8,610	485	990	538	1,210	468	78	87	25	126
22	8,500	475	984	543	1,160	…	77	86	25	121
23	8,420	447	1,010	538	1,150	…	74	83	24	113
24	8,180	415	1,020	527	1,150	…	73	78	24	113
25	8,060	401	1,030	529	1,140	…	72	79	26	110
26	8,000	389	1,030	527	1,130	…	70	79	27	108
27	8,050	389	1,020	527	1,130	…	70	85	28	103
28	7,580	377	998	530	1,120	…	67	86	28	99
29	6,926	357	978	527	1,100	…	69	85	27	96

年産	しろとり	いちご	キャベツ	ほうれん そう	レタス	パプリカ	ねぎ	さやいん げん	さやえん どう	えだまめ	スイート コーン
平 21	...	...	157	678	432	458	204	...	116	208	230
22	30	94	156	685	400	469	197	62	112	210	228
23	...	...	170	661	402	508	199	...	113	227	225
24	27	...	169	650	390	539	200	...	103	235	228
25	...	90	174	630	389	580	212	50	88	232	220
26	23	...	172	600	381	653	212	...	76	234	200
27	...	...	172	587	382	722	220	...	72	233	202
28	...	77	167	572	349	725	225	46	71	225	201
29	...	76	161	538	307	768	225	...	72	226	215

注：野菜計は作付延べ面積に、いも類のかんしょを含む。

資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」「地域特産野菜の生産状況」「特用林業基礎資料」

(9)果樹栽培面積・収穫量

単位 { 栽培面積：ha
収穫量：t

年産	果 樹	みかん		はっさく		ゆず		すだち		ぶどう		日本なし	
	栽 培 面 積	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量
平 21	3,240	942	14,200	89	1,074	384	5,273	447	6,520	96	868	251	6,480
22	3,200	935	10,300	89	991	378	3,944	452	5,788	95	...	248	5,470
23	3,120	919	12,700	89	972	378	4,244	447	5,379	92	...	243	5,590
24	3,110	916	12,800	88	742	377	3,457	445	5,398	92	...	241	5,690
25	3,080	910	13,900	82	766	367	4,025	432	5,776	90	...	237	6,370
26	3,020	906	13,700	80	703	367	3,303	433	5,355	88	708	234	5,180
27	2,900	878	13,400	71	480	340	3,453	405	5,374	81	...	229	4,330
28	2,708	825	12,900	69	963	348.2	3,601	397	4,628	79	...	218	5,250
29	2,204	808	12,000	H28年度までのデータしか公表されていない。						...	...	218	4,930

年産	うめ		かき		くり	
	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量
平 21	253	983	271	3,620	164	126
22	244	809	263	...	153	116
23	231	964	256	...	143	...
24	231	653	255	...	142	...
25	225	793	251	...	140	...
26	200	700	248	3060	128	84
27	175	477	239	...	110	...
28	141	302	234	...	104	...
29	135	440	...	...	...	...

資料：農林水産省「果樹生産出荷統計」

すだち・ゆず・はっさくは「特産果樹生産動態等調査」（もうかるブランド推進課調べ）

(10)花き

単位：ha

単位：百万円

年産	栽 培 面 積					販 売 額				
	計	切花	枝物	鉢物	花壇 用苗	計	切花	枝物	鉢物	花壇 用苗
平 21	292	143	120	25	4	5,332	2,937	304	1,939	153
22	267	122	121	22	2	4,657	2,538	189	1,826	103
23	263	124	116	21	2	4,326	2,584	243	1,391	107
24	249	115	112	19	3	3,850	2,275	267	1,190	117
25	230	106	104	17	2	3,856	2,215	261	1,274	106
26	221	112	97	12	0	3,565	2,421	226	911	8
27	213	108	93	12	0	3,521	2,384	217	911	8
28	192	90	86	16	0	3,172	2,798	234	860	12
29	177	81	80	15	1	2,977	1,804	275	889	10

注：ラウンドのため計と内訳が一致しない場合がある。

資料：徳島県「徳島の花」「徳島の園芸」

(11) 茶

年産	茶	
	栽培面積 (ha)	生葉収穫量 (t)
21	324	900
22	308	…
23	294	…
24	294	…
25	282	…
26	267	721
27	254	…
28	249	…
29	…	…

資料：農林水産省「作物統計調査」

(12)畜産

 単位 {
 戸数：戸
 頭数：頭
 羽数：1,000羽

年次	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー	
	飼養 戸数	飼養 頭数	飼養 戸数	飼養 頭数	飼養 戸数	飼養 頭数	飼養 戸数	飼養 羽数	飼養 戸数	飼養 羽数
平 22	202	6,730	284	27,800	…	…	…	…	…	…
23	171	6,340	248	27,600	43	40,100	22	731	…	…
24	151	5,880	246	27,300	42	47,300	20	820	234	4,950
25	147	5,640	229	24,800	37	46,500	20	851	202	4,052
26	137	5,450	207	23,800	29	39,600	19	971	156	4,483
27	126	5,140	202	22,600	…	…	…	…	…	…
28	113	4,890	197	22,600	25	36,200	16	885	170	4,294
29	109	4,820	198	22,700	23	39,500	18	942	170	4,221
30	100	4,520	197	22,500	23	39,600	18	931	169	4,310

注：平成22年、27年の豚・採卵鶏・ブロイラー及び平成23年のブロイラーは調査休止。

資料：農林水産省「畜産統計調査」

(13)農畜産物の出荷量

品目	22	23	24	25	26	27	28	29			
	出荷量	出荷量	出荷量	出荷量	出荷量	出荷量	出荷量	出荷量	仕 向 先 別		
									京阪神	その他県外	県内
野 菜 (t)	186,051	185,359	176,336	181,315	181,392	174,915	168,196	170,921	65,992	76,439	28,498
果 樹 (t)	18,368	21,905	21,337	22,586	21,477	…	…	…	…	…	…
肉 牛 (頭)	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
肉 豚 (頭)	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
鶏 卵 (t)	10,333	9,359	11,497	12,889	12,984	…	…	…	…	…	…
アヒル(千羽)	16,780	16,946	16,712	14,995	14,952	…	…	…	…	…	…

注：果実（みかん）の輸出向けは含めない。

注：肉牛、肉豚、ブロイラーは、と場・処理場向け出荷量。

注：平成22年以降、肉牛、肉豚の調査中止。

注：平成27年以降、果樹、鶏卵、ブロイラーの調査中止。

資料：農林水産省「畜産物流通統計」、徳島県「徳島の野菜」「徳島の果樹」「徳島の園芸」

3 林 業

(1) 徳島県の森林・林業主要指標

項 目	単位	全 国	徳島県	占有率(%)	順位	資 料 出 所
総 土 地 面 積	千ha	37,797	415	1.1	36	全国都道府県市区町村別面積調(H29)
総 人 口	人	127,094,745	755,733	0.6	44	国勢調査(H27)
総 世 帯 数	世帯	53,448,685	305,754	0.6	43	
林 野 率	%	66.5	75.6	—	10	2015年農林業センサス
森 林 面 積	ha	24,432,757	312,010	1.3	29	
国 有 林	ha	7,051,792	16,656	0.2	34	
民 有 林	ha	17,380,965	295,354	1.7	25	
人 工 林 面 積	千ha	21,088	205	1.0	22	林野庁「森林・林業統計要覧2016」(H27.3.31)
人 工 林 率	%	41	61	—	7	林野庁計画課調べ(H24.3.31)
森 林 蓄 積	千m³	4,900,511	91,325	1.9	22	
国 有 林	千m³	1,151,822	3,120	0.3	34	
民 有 林	千m³	3,748,689	88,204	2.4	24	
保 安 林 面 積	ha	12,197,105	115,988	1.0	30	林野庁「平成30年度保安林及び保安施設地区制度の概要」
国 有 林	ha	6,917,589	18,355	0.3	32	林野庁治山課調べ(H30.3.31)
民 有 林	ha	5,279,516	97,634	1.8	23	
林 道 延 長	km	139,236	1,941	1.4	27	林野庁「森林・林業統計要覧2018」(H29.3.31)
国 有 林	km	45,818	56	0.1	39	
民 有 林	km	93,418	1,885	2.0	23	※幅員2.0m未満含む
農 林 業 経 営 体 数	経営体	1,404,488	18,743	1.3	35	2015年農林業センサス
林 業 経 営 体 数	経営体	87,284	1,001	1.1	35	
林 業 経 営 体 率	%	6	5	—	24	
林 業 産 出 額	千万円	45,182	1,113	2.5	11	農林水産省「林業産出額」(H29)
素 材 生 産 量	千m³	—	376	—	—	「平成30年度みどりの要覧」
製 材 出 荷 量	千m³	8,997	134	1.5	18	農林水産省「木材統計」(H29)
木材・木製品出荷額	百万円	2,520,040	40,150	1.6	26	平成26年工業統計調査「概要版」※従業員4人以上の事業所
乾しいたけ生産量	トン	2,544	5	0.2	29	特用林産基礎資料
生しいたけ生産量	トン	69,639	8,150	11.7	1	林野庁経営課調べ(H29)
ひらたけ生産量	トン	3,828	0.6	0.02	42	
木 炭 生 産 量	トン	9,603	15	0.2	32	
竹 炭 生 産 量	トン	526	19	3.6	4	

(2) 林業経営体数

単位：経営体

年次	計	保有林 なし	3ha未満	3～5	5～10	10～20	20～30	30～50	50～ 100	100～ 500	500～ 1,000	1,000ha 以上
平 22	1,800	10	14	477	537	366	144	111	70	58	9	4
平 27	1,001	14	8	245	273	212	86	65	49	38	7	4

資料：農林水産省「2015年農林業センサス」

(3) スギ・ヒノキ人工林齢級別面積(平成30年3月31日現在)

単位：ha

区分	1 (1～5 年生)	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15齢級 以上	計
ス ギ	294	251	604	947	1,099	1,913	4,577	8,792	11,784	23,941	25,726	20,798	11,860	6,354	14,922	133,862
ヒ ノ キ	9	154	549	1,263	2,535	3,200	4,898	4,682	4,128	4,465	3,506	2,705	1,480	659	2,121	36,354
計	303	405	1,153	2,210	3,634	5,113	9,475	13,474	15,912	28,406	29,232	23,503	13,340	7,013	17,043	170,216

注：1齢級は5年

資料：徳島県「平成30年度みどりの要覧」

(4) 樹種別生産量及び木材需要量

単位：1,000m³

年度	木材生産量									木材需要量		
	針葉樹				広葉樹				合計	年次	計	うち 製材用
	私有林	県有林	国有林	小計	私有林	県有林	国有林	小計				
平 20	202	3	5	210	9	0	0	9	219	20	527	316
21	175	2	6	183	14	0	0	14	197	21	409	282
22	192	3	6	201	5	0	0	5	206	22	458	282
23	224	9	4	237	6	0	0	6	243	23	431	271
24	246	6	4	256	8	0	0	8	264	24	480	270
25	263	12	4	279	12	0	0	12	291	25	499	268
26	251	14	3	268	11	0	0	11	279	26	518	276
27	292	14	6	312	11	0	0	11	323	27	499	255
28	321	16	6	343	10	0	0	10	353	28	572	247
29	341	15	10	366	10	0	0	10	376	29	577	235

資料：徳島県「みどりの要覧」、農林水産省「木材統計調査」

(5) 林業産出額及び生産林業所得

単位：1,000万円

年次	林業産出額					生産林業所得
	計	木材生産	薪炭生産	栽培きのご類生産	林野副産物生産	
平 20	935	235	2	698	0	441
21	897	202	2	693	-	384
22	981	225	2	754	-	421
23	998	227	3	767	1	429
24	1,006	251	3	751	1	439
25	1,055	269	3	784	-	460
26	1,108	282	3	823	-	450
27	1,155	314	2	839	0	—
28	1,086	262	2	822	0	—
29	1,113	292	2	811	8	—

注：平成27年から、生産林業所得については全国値のみ

資料：農林水産省「生産林業所得統計」「林業産出額」

4 水産業

(1) 海面漁業漁業種類別漁獲量・養殖魚種別収穫量及び産出額(H29)

	計 ①+②	海面漁業							
		小計 ①	船びき網	小型 底びき網	近海 まぐろ はえ縄	小型 定置網	採貝 採藻	その他の はえ縄	その他
漁獲(収穫)量(t)	21,665	10,591	...	1,961	...	837	586	582	6,625
生産額(億円)	107	58	...	...	...	...	...	...	...

	海面養殖業				
	小計 ②	魚類	わかめ類	のり類	その他
漁獲(収穫)量(t)	11,074	4,113	4,992	1,889	80
生産額(億円)	49	...	...	...	...

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」「漁業産出額」

(2)海面漁業・養殖業産出額

単位：100万円

年次	計	海面漁業	海面養殖業
平 20	14,483	8,651	5,832
21	14,037	7,767	6,270
22	13,669	7,272	6,397
23	16,018	8,518	7,500
24	14,986	7,836	7,150
25	14,069	7,586	6,482
26	12,334	6,181	6,153
27	11,257	5,508	5,749
28	11,215	5,732	5,483
29	10,743	5,810	4,933

資料：農林水産省「漁業産出額」

(3)海区别経営体数

	合 計	瀬戸内海区		太平洋南地区	
		漁 業	養 殖	漁 業	養 殖
2008	1,863	760	369	731	3
2013	1,599	666	316	612	5

資料：農林水産省「漁業センサス」

(4)経営体別階層別経営体数の構成割合

		合計	3t未満	3～5t	5～10t	10t以上	定置網	海面養殖	漁船非使用・無動力
2008	経営体数	1,863	680	306	216	161	124	372	4
	割 合		36.5	16.4	11.6	8.6	6.7	20.0	0.2
2013	経営体数	1,599	597	240	177	152	95	321	17
	割 合		37.3	15.0	11.1	9.5	5.9	20.1	1.1

資料：農林水産省「漁業センサス」

(5)内水面漁業魚種別漁獲量

単位：t

年次	計	あ ゆ	う な ぎ	あゆ・うなぎ 以外の魚類	貝 類	水産動物類	藻 類
平 20	190	51	7	101	19	12	…
21	260	56	5	81	55	3	…
22	249	53	4	69	49	4	…
23	228	51	4	63	43	5	…
24	198	56	3	45	14	5	…
25	183	55	3	44	11	3	…
26	0	0	0	39	0	0	…
27	129	75	2	35	15	2	…
28	127	73	2	38	13	1	…
29	110	62	1	36	10	1	…

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」

(6)内水面養殖業魚種別収穫量

単位：t

年次	計	ま す 類	あ ゆ	う な ぎ	そ の 他
平 20	1,232	x	717	435	…
21	1,056	x	551	435	…
22	961	x	464	431	…
23	825	x	405	361	…
24	672	54	306	311	…
25	548	47	275	226	…
26	572	48	252	272	…
27	722	x	284	393	…
28	614	38	274	301	…
29	612	32	210	369	…

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」



阿波ふうど
AWA FOOD

2019グラフで見るとくしまの農林水産業

令和元年7月

編集・発行

徳島県（農林水産政策課）

徳島市万代町1-1

088-621-2425

088-621-2854 (FAX)